

平成30年度 茅野市社会福祉協議会事業報告

急速な少子高齢化や核家族化の進行、地域の間人関係の希薄化などにより、社会的孤立や複合的な生活課題を抱えた世帯・個人が増えています。また、社会全体で働き手の不足が深刻化しつつあり、福祉の分野においてもその対策が急務となっています。こうした社会の変化に対応すべく、国においては、社会福祉法の改正、地域包括ケアシステムの充実を目指した介護保険制度の改革、成年後見制度利用促進法の施行、地域共生社会の実現へ向けた取組などが進められています。

特に、制度・分野ごとの「縦割り」や「支えて」「受けて」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』繋がることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をとともに創っていく地域共生社会を実現することを、これからの社会保障・社会福祉の基本理念として掲げ、体制整備が進められています。

一方、平成30年度にスタートしました「第3次茅野市福祉21ピーナスプラン」では、第1次プランから実践している総合相談支援体制を充実させ、地域共生社会の実現を確実なものとするため、生活全体の包括、対象の包括、支援の包括、つながりの包括の4つの「包括的支援体制」の整備により「我が事・丸ごと」の地域づくりをさらに進めることとしています。

このような状況の中、茅野市社協は、社会福祉法の改正に伴う新たな執行体制の構築、事務局組織の改編と介護保険事業の統合、茅野市・富士見町・原村成年後見支援センターの運営、地域福祉活動計画を包含した第3次茅野市福祉21ピーナスプランの推進など、積極的な取組を行っています。さらに、誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けられるように、時代や社会の変化に即応しながら、ボランティア人材の育成や、地域におけるボランティア活動・市民活動支援といった住民主体の地域福祉を推し進める取り組みの他、各種福祉サービスや福祉事業の受託事業を数多く担ってきました。

平成30年度は、こうした新たな取り組みを軌道に乗せる年度と位置づけ、各事業を実施しましたが、年間を通じて、介護保険事業部門をはじめとする組織全体で職員体制が不十分な状態が続くこととなりました。そのため、平成30年度の事業計画で意図した「地域福祉推進の中核を担っていける社会福祉法人としての基盤の充実を図る」ことはできませんでした。

このため、令和元年度に向けて、地域共生社会の実現に資する包括的な支援体制を確立すべく、日々変化する社会的な課題や制度に対し、迅速に対応していくとともに、個別支援を積み重ね地域福祉を推進していくため、事務局の管理運営体制や成年後見支援センターを中心とした個別支援部門の体制を整えました。

今後におきましても、社会福祉法第22条による「社会福祉法人」と、同法第109条による「社会福祉協議会」の性格を併せ持つ茅野市社協は、その両面視点から、今後も地域福祉の推進に主体的にかかわるとともに、社協組織を取り巻く様々な変化に対応し、地域福祉のニーズに基づく事業を継続的に展開しなければなりません。「地域福祉の推進」を使命とする茅野市社協は、今後も「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」「地域福祉行動計画」「発展強化計画」の実践に取り組んでまいります。

総務・企画系の主要な取り組み

平成30年度は、社会福祉法人としての法令遵守を意識し、健全な法人運営に努めました。管理運営業務として理事会・評議員会・経営委員会等の開催や、予算・決算等の経理業務、職員採用、勤怠管理、諸規定の見直し、寄付金、会員及び会費の管理、車両備品等の管理、ホームページの更新、社協広報紙の発行及び社会福祉大会の開催等を行いました。

(1) 社協会費・共同募金

総務・企画系の職員が各地区区長会に出席し、社協会費の納入依頼を行いました。

(2) 諸規程の整備

就業規則をはじめ、時事に合わせて各規程の整備を行いました。

(3) 「社会福祉大会」の実施

年度当初より職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、社会福祉大会の実施に取り組みました。

(4) 災害ボランティアセンター運営訓練

災害時に災害ボランティアセンターを円滑に運営できるよう、職員全員を対象に災害ボランティアセンター運営訓練を実施しました。

主な課題と今後の方向性

法人管理運営事業

茅野市社協の財政再建は最優先事項と考えます。財政が安定していなければ茅野市社協事業の今後の展開に影響が出る恐れがあります。積立金の取り崩しに頼っている中、茅野市社協として実施すべき事業が何か。財源確保をどうしたらできるか。茅野市社協として投資してでも実施していくべき事業をどのようにしていくのかなどの選択が求められています。

今後も、社会福祉法人として安定した経営が必要であり、共同募金や社協会費はもとより、新たな財源確保など、第2次茅野市社協強化発展計画の策定により、検討する必要があります。

広報・啓発事業

茅野市社協は、広報紙「やらざあ」、茅野おたがいさま情報紙「あっちのこっちno」、ホームページの他、事業によっては地元新聞社への記事掲載依頼やビーナチャンネル、LCVの活用により広報活動を進めています。

こうした活動を進める中、ネット社会の中で誰でも簡単に情報が得られる反面、必要な人に必要な情報が届かないといった事態も発生しています。茅野市社協として、何をPRするのか、その方法はどのようにするのか検討する必要があります。

地域における災害支援体制の構築

大規模な自然災害が頻発する昨今、茅野市においても大規模な災害が発生した際には、茅野市社協には、地域住民から大きく期待が寄せられる機能・役割があります。また、災害によっては、地域のつながりが断たれてしまうことが想定され、地域における災害支援体制の構築が喫緊の課題となっています。

このような中で、災害時には、ひと・まちプラザを事業拠点とした茅野市社協の機能を維持しなければなりません。特に、業務内・業務外問わず、発災時にどう対応するか。職員、利用者、地域の地域福祉推進リーダーの安否確認を含めた初動体制について、確認をする必要があります。

日常生活支援係の主要な取り組み

生活課題の早期発見や潜在的なニーズの把握を積極的に行い、生活のしづらさを抱えた個人やその家族に寄り添い、共に課題解決ができるよう総合的な支援に努めました。具体的には、貸付事業と家計相談、日常生活自立支援事業と成年後見支援センターなどの相談事業、シャララ・ほっとサービスと配食サービスやファミリー・サポート・センター事業など、複数の事業や制度を状況に応じて、より効果的に活用し、関係機関とも連携を図りながら、課題解決に取り組みました。

平成30年度は、以下の4項目を重点にして各事業に取り組みました。

(1) 潜在的な生活課題・福祉課題の把握

地域福祉活動推進係のコミュニティソーシャルワーカーと連携して、生活支援サービスの申請受付に携わり、要援護者のニーズを丁寧に受け止め、迅速に必要なサービスの利用につなげました。さらに、サービスの利用だけでなく、生活全般を支えるための支援体制の構築に努めました。

(2) 茅野市・富士見町・原村成年後見支援センターの運営

茅野市・富士見町・原村の3市町村から受託する成年後見支援センターにおいて、成年後見制度に係る二次相談窓口として、制度の普及、啓発、相談、円滑な制度利用促進のための支援を実施しました。また、日常生活自立支援事業も担うことで、権利擁護支援が必要な人に対して相談者の判断能力に応じた解決策を見出せるよう相談・支援を行いました。

(3) 貸付事業等を中心にした生活困窮者の課題解決

利用者の貸付審査や償還指導だけでなく、家計収支全体の改善を図り、生活の困窮状態から早期に脱却できるよう、利用者とともに原因の分析と解決すべき課題の整理(家計相談支援)を行いました。

また、課題解決に向けては、まいさぼ茅野市と連携を取りながら、支援に努めました。

(4) 生活支援サービスの見直し

配食サービスや移送サービスについては、今後の事業見直しのため、サービスを継続して利用されている利用者に対して、状況把握のため再訪問やアンケート調査を行い、料金改定やサービス内容の見直しに取り組みました。

また、ファミリー・サポート・センター事業については、子育て支援に関する施策をより総合的に充実を図るため、令和元年度から茅野市教育委員会子ども課に担当を移管して実施することとなりました。

主な課題と今後の方向性

生活困窮者支援事業

茅野市社協では、生活困窮者の自立を支援することを目的に、生活福祉資金貸付事業、暮らしのつなぎ資金貸付事業、生活困窮者自立支援事業を展開しています。

今後も、まいさぼ茅野市との連携を図りながら、茅野市社協内の各係や地域、関係機関とも連携して課題解決にあたるとともに、家計管理に関する指導や相談支援、就職活動応援金付職場体験事業(プチバイト)の活用、入居保証支援等の制度を活用しながら、生活困窮状態の改善に向けた継続支援に取り組み、本人が望む自立した生活の実現に向けて支援する必要があります。

権利擁護事業

住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を最後まで送られることは誰もの願いです。茅野市社協では、権利擁護事業として、日常生活自立支援事業、法人後見事業、そして、平成29年4月から、茅野市・富士見町・原村の3市町村の委託を受け、「茅野市・富士見町・原村成年後見

支援センター」を開設し運営しています。

日常生活自立支援事業の利用者は、年々増加しており、成年後見制度への移行が必要になってくる利用者も多くなっています。日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行が必要な契約締結者について、生活支援サービス等を活用しながら切れ目のない支援を目指すとともに、職員の必要なスキルを見極め、より丁寧な相談・支援に努めることで、地域における権利擁護支援体制の構築を目指す必要があります。

相談・生活支援事業

茅野市社協では、市内で取り込まれる様々なボランティア活動の中から、住民の暮らしに欠かすことができないと考えられる活動を、配食サービスや移送サービス、シャララ・ほっとサービス、また、閉じこもり・介護予防のためのデイサービスなど、福祉サービスとして発展させてきました。

既存の福祉サービスとボランティア活動では対応できないニーズに応えるために、今後も新しいサービスの開発・実施に取り組みなければなりません。具体的には、住民参加型の有償サービスであるシャララほっとサービスは、より複雑多様化するニーズに十分に答えられない現状があることから、新たな体制整備を図る必要があります。

地域福祉活動推進系の主要な取り組み

コミュニティソーシャルワークの手法を基本に「誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる地域づくり」を目指し、積極的な地域展開を図りました。

生活支援体制整備事業では、コミュニティソーシャルワーカーが兼務する生活支援コーディネーターが中心となって、行政、地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターとの連携を図り、各地域で高齢者が自立した日常生活を送るための支援、介護予防、支え合いのできる地域づくりへの体制の整備に取り組みました。

ゆいわーく茅野に常駐する茅野市社協職員2名が、市民、行政と協働することで、福祉分野を含んだボランティア活動や市民活動が広がるよう総合的な支援に取り組みました。

平成30年度は、以下の7項目を重点に取り組みました。

(1) 個別訪問活動と相談・支援

高齢者を中心とした訪問活動を通じて、支援を必要とする人をできるだけ早く発見し、必要なサービスにつなぐなど問題解決に取り組みました。

(2) 個別の相談・支援に関わる連携

一人ひとりの生活課題の解決のために、必要に応じて保健福祉サービスセンターと連携を行い、住み慣れた地域でその人らしい生活を送れるよう支援に努めました。また、シャララほっとサービス、配食サービスや総合相談事業、貸付事業、日常生活自立支援事業などの制度を活用し、コミュニティソーシャルワーカーと各事業の担当職員とが連携して支援を行ってきました。

(3) 地域福祉活動への支援

地区コミュニティセンターや保健福祉サービスセンターと協働し、地区社協や福祉推進委員活動の支援、第2次地域福祉行動計画の推進への支援を各地区で取り組みました。各地区では、防災や健康についての研修会の開催や、先進的な福祉活動を実践しているところへ視察研修を実施しました。また、生活支援体制整備事業を絡め、地区の会議や事業などでも地域課題などを共有する機会を作りました。

(4) ボランティア活動への支援

地区や各区ボランティアの会、市内のボランティア活動団体を対象にボランティア活動の活

性化と茅野市社協とのつながりを深めることを目的に茅野市ボランティア交流会を開催しました。(年1回)

各地区ボランティアの会の活動の共有と交流を目的に地区ボランティアの会連絡会を開催しました。(年2回)

各区で取り組んでいるサロンや、住民主体の様々な活動の場へ積極的に出向き、活動状況の把握や支援に取り組みました。

(5) 生活支援体制整備事業の実施

本事業の理解と協力を得るため、生活支援コーディネーターが各区の実情に合わせて区長会、福祉推進委員連絡会、民生児童委員定例会等に出向き、本事業の趣旨や取り組みについての説明をしてきました。

地区コミュニティセンターや保健福祉サービスセンターと協力しながら、各地域で地域の良い点や課題について話し合う住民懇談会を開催しました。また、地区協議体の設置への支援を行いました。広報紙やらざあ等を通じて市民の意識啓発にも努めました。

(6) “ふくし”の心を育む福祉教育(共育)・学習の推進

市内の小学生・中学生・高校生が福祉について学ぶ場として、出前福祉教室を開催しました。具体的には地域で生活する障害のある方に協力していただき、高齢者や障害のある方との交流を通して、「誰もが共に生きる」という福祉の心を育む機会を提供しました。

第3次福祉21ビーンズプランの推進母体である福祉21茅野の福祉教育部会の提案等を茅野市社協が進める福祉教育の取り組みに生かすための検討を行いました。令和元年度も検討を継続し、福祉教育の充実を図ります。

(7) 市民活動センター事業の実施

茅野市市民活動センター『ゆいわーく茅野』管理運営計画の6項目の「事業の柱」に基づいて事業を実施しました。

主な課題と今後の方向性

小地域福祉活動推進・支援事業

茅野市社協の生活支援コーディネーターが中心となり、地区コミュニティセンターや保健福祉サービスセンター等と連携しながら、生活支援体制整備事業の周知とともに各地域での住民懇談会に取り組んでいます。今後も、各地域で住民懇談会の開催を働きかけ、支え合いの必要性や地域課題の共有を図るとともに、地域課題の解決に向け、多様なネットワークづくりを地域住民の皆さんとともに進め、地域での福祉活動の理解と新たな活動者が増えるよう働きかけが必要です。

また、こうした活動を通して、制度、非制度に関わらず新たなサービスや支え合いの仕組みづくりに取り組んでいかなければなりません。

ボランティア・市民活動推進事業

地域福祉分野のボランティア・市民活動のさらなる振興のため、全市的かつ多分野にわたるボランティア活動者やグループ、NPOなどのネットワークの充実を図り、お互いの情報交換や活動の協力ができる関係づくりを支援する市民活動センター「ゆいわーく茅野」との連携のもと、他分野の活動(者)との関係づくりを積極的に支援するとともに、茅野市全域(2層)の活動(者)と地区・区・自治会(4層・5層)の活動(者)が効果的につながるような働きかけを行っていく必要があります。「ゆいわーく茅野」を媒体とし、あらゆる主体が、そして、様々な活動が自立し、展開されるように、まちづくりに向けた仕組みづくりを進める必要があります。

また、各学校での出前福祉教室の開催、地域における福祉意識の醸成と実践活動への展開、市内の小・中・高等学校を「社会福祉普及校」として指定するなど、「お互い様」の心を醸成する福祉教育・学習の推進を図っています。支え合いの基礎となる福祉意識を醸成するため、これま

で小中学校を中心に取り組んできた福祉教室の取組を拡充し、保育園や学校、地域などで、生涯にわたって福祉に関わる学習・体験ができる場の創出に努めます。さらに、茅野市社協が行う事業全てが福祉教育につながっていることを意識することも必要と考えます。

在宅福祉系の主要な取り組み

在宅福祉系は、介護保険法及び障害者総合支援法関係の事業のほか、行政からの受託事業を実施しました。

各法令を遵守し、高齢者や障害のある方等が安心して地域で生活が続けられるよう、各係や各保健福祉サービスセンターと連携を図り利用者へのより良いサービス提供に努めました。

西部保健福祉サービスセンターでの介護保険事業所の一拠点化により、利用者にとってサービス利用の利便性向上を図りました。また、各事業所の課題を把握する中で、令和元年度以降の課題解決につなげていきます。

平成30年度は下記の5項目を重点に取り組みました。

- (1) サービスの向上を図るため、内部研修や外部研修を通して、関連する諸制度の理解、介護技術や認知症等に関する専門知識の習得に努め、職員の資質向上を図るとともに、尊厳のある接遇を徹底し、利用者の立場にたった福祉サービスの提供に努めました。(p29、30) 参照
- (2) 介護保険法、障害者総合支援法等の法令遵守に努めました。

県実地指導監査

・ 8月28日 実施(障害者総合支援法：関係)

対象事業所： 訪問介護事業所(9:00~) あすなるセンター(13:00~)

以上の実地指導監査が実施され、特筆すべき指摘事項はありませんでした。

- (3) 社会福祉協議会の使命を意識し、職員一人ひとりが茅野市社協の一員としての自覚を持ち、係を超えての情報共有や連携強化に努め、専門的知識や技術を生かした質の高いサービスを提供するとともに各保健福祉サービスセンター等との連携も綿密にして、地域福祉向上に貢献しました。
 - ・ 介護支援専門員連絡会、サービス提供者事業所連絡会及び各保健福祉サービスセンター開催の打合せ会議にも積極的に参加し連携を密にしました。
 - ・ 地域福祉活動推進係との連携を密にして業務を推進しました。
 - ・ 災害ボランティアセンター運営訓練にも多数の介護スタッフが参加しました。
- (4) 介護人材の定着及び働きやすい職場環境づくりを進めるために、業務改善に取り組み、職場環境の改善を図りました。
 - ・ 訪問介護事業所・西部デイサービスセンターでは、課題検討・連絡・業務改善のために各事業所職員会議を毎月実施しました。
 - ・ 処遇改善の一環として介護職員との話し合いにより、半年毎に支給していた「処遇改善加算」を「時給職員」に対して毎月の給与に上乗せして支給することにしました。
- (5) 社会福祉士・介護福祉士等の現場実習生の受け入れを行い、福祉人材育成のために協力しました。平成30年度は、下記の学生を受け入れ研修をしていただきました。

[研修先：訪問介護事業所・西部デイサービスセンター]

 - ・ 高校生職場体験 茅野高校 (10/18~19): 富士見高校(11/6~7)
 - ・ 県社協事業「福祉の職場体験」より清陵高等学校附属中学校 学生1名(11/8~9)
 - ・ 松本短期大学 介護福祉学科 学生2名 訪問(8/17~24): 西部デイ(2/18~22)

主な課題と今後の方向性

居宅介護等事業

茅野市社協は、平成12年度(2000年度)の介護保険制度のスタート以来、誰もが地域で安心し

て生活が続けられるよう、訪問介護や通所介護事業などの実施による、より良い介護サービスの提供を行っています。特に、茅野市社協自ら必要な研修機会を設けて、関連する諸制度の理解、介護技術や認知症等に関する専門知識の習得を行うとともに、介護人材の確保・定着に向け、働きやすい職場環境づくりを進めるための業務改善に取り組んできました。

今後も、職員の資質向上、福祉人材の確保・育成、サービス提供事業者や保健福祉サービスセンターとの連携を通して、利用者の立場にたった福祉サービスの提供に努めなければなりません。そのためにも、他の介護保険事業所同様「人員不足」「業務多忙」は否定できませんが、いかに本事業を実施していくのか、十分な検討が必要です。

障害者福祉サービス事業

あすなるセンターは、平成24年（2012年）から、「就労継続支援B型」として事業を移行・運営し、障害者の方々に就労の機会を提供するとともに、知識や能力の向上のために必要な訓練を行うことで、障害者の支援を総合的に提供する施設として活動しています。

今日の社会・経済情勢を鑑みると、このあすなるセンターが就労継続支援施設として安定的に継続した作業量と収入額を確保することは難しい状況にあります。また、利用者とその家族が高齢化しており、他のサービスを併用するなど、1日当たりの通所者数が減少してきています。

引き続き、施設等の体制を維持するとともに、地域活動支援の場として仕事、体力、生活面の指導に力を入れ、通所者が社会人として自立し、社会参加できるよう継続的に取り組むとともに、当事者の方々の生活のしづらさを軽減し、その人らしく生活できるよう支援していく必要があります。

【事業の概要】

法人・地域福祉推進事業

1 法人運営事業

(1) 管理運営事業

平成30年度決算額 63,955,803円

経営委員会・理事会・評議員会等の開催

開催日	会議名	主な内容
5月30日(水)	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告について 平成29年度決算について 評議員候補者の推薦について
6月12日(火)	理事会	<ul style="list-style-type: none"> 評議員会の開催について 評議員選任候補者の推薦について 平成29年度事業報告について 平成29年度決算について 社会福祉充実残額の報告 監査報告 会長の職務執行について
6月27日(水)	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告について 平成29年度決算について 社会福祉充実残額の報告 監査報告
11月22日(木)	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 就業規則等の一部改正について

開催日	会議名	主な内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ・ 給与等に関する規程の一部改正について ・ 正規職員の初任給、昇格、昇給等に関する規則の一部改正について ・ 評議員会の開催について ・ 平成30年度資金収支補正予算（第1号）について ・ 平成30年度中間決算について ・ 職員体制について ・ ファミリーサポートセンター事業について
12月6日（木）	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業規則等の一部改正について ・ 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ・ 給与等に関する規程の一部改正について ・ 正規職員の初任給、昇格、昇給等に関する規則の一部改正について ・ 評議員会の開催について ・ 平成30年度資金収支補正予算（第1号）について ・ 平成30年度中間決算について ・ 職員体制について ・ ファミリーサポートセンター事業について
12月11日（火）	評議員選任・解任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員の選任について
12月18日（火）	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度資金収支補正予算（第1号）について ・ 平成30年度中間決算について
3月13日（水）	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嘱託職員就業規則の一部改正について ・ 正規職員の給与等に関する規程の一部改正について ・ 嘱託職員の給与等に関する規程の一部改正について ・ 経理規程の一部改正について ・ 評議員会の開催について ・ 平成30年度資金収支補正予算（第2号）について ・ 平成31年度事業計画について ・ 平成31年度資金収支予算について ・ 会長の職務執行について
3月18日（月）	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嘱託職員就業規則の一部改正について ・ 正規職員の給与等に関する規程の一部改正について ・ 嘱託職員の給与等に関する規程の一部改正について ・ 経理規程の一部改正について ・ 評議員会の開催について ・ 平成30年度資金収支補正予算（第2号）について ・ 平成31年度事業計画について ・ 平成31年度資金収支予算について ・ 会長の職務執行について
3月27日（水）	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度資金収支補正予算（第2号）について ・ 平成31年度事業計画について ・ 平成31年度資金収支予算について

定例監査の実施

6月1日(金)	平成29年度の事業報告及び決算について 役員・評議員研修等
開催日	内容
9月5日(水)	社会福祉法人トップセミナー(岡谷市) <参加者:理事・職員 計4名> 「社会福祉法人の連携の力で、地域共生社会を拓く」 実践報告
9月12日(水)	県社会福祉大会(塩尻市) <参加者:理事・監事・評議員・職員 計18名> 「地域づくりを“我が事に”～住民リーダー&コーディネーター大集合!!」 講師:阿部陽一郎氏
12月21日(金)	諏訪ブロック社協 役員及び職員合同研修会(富士見町) <参加者:理事・職員 計7名> 「総社市社会福祉協議会の取り組みについて」 講師:総社市社会福祉協議会 事務局長 佐野裕二氏
2月16日(土)	福祉推進委員研修会(茅野市役所) <参加者:理事・監事・評議員 計15名> 「ゆるやかなつながりから生まれる支え合いの地域づくり」 講師:公益財団法人 長野県長寿社会開発センター 主任シニア活動推進コーディネーター 戸田千登美氏

諸規程の整備

就業規則、育児・介護休業等に関する規程及び給与規程等の整備を行いました。労働基準法その他の法律に則り、ガバナンス強化、法令遵守に努めました。

職員採用

業務が円滑に執行できるよう、必要に応じた職員の採用に努めましたが、諏訪地域全体で求職者が少なく、非正規職員のほか正規職員の退職による補充のための職員採用もできませんでした。

職員研修の参加

職員の資質向上のため、長野県社会福祉協議会等の外部団体主催の各種研修へ参加しました。
(p41)参照

災害時に備えた体制整備

災害時に災害ボランティアセンターを円滑に運営できるよう、職員全員を対象に災害ボランティアセンター運営訓練を実施しました。災害時には部門を超えて、全職員による対応が求められるため、今後も運営訓練を繰り返し実施していきます。

2月21日(木)	災害ボランティアセンター運営訓練 <参加者:職員・東御市社協職員 計41名> 講師:特定非営利活動法人ローカル・コミュニティ 理事長 高田 克彦氏
----------	---

災害ボランティア活動支援対応

- ・長野県社会福祉協議会より派遣依頼を受け、7月に発生した西日本豪雨災害で被害を受けた広島県三原市に職員1名を派遣しました(長野県内社協職員災害初動時における先遣チーム(DSAT)登録職員)。

8月24日(金)～ 8月29日(水)	派遣先:広島県三原市災害ボランティアセンター
-----------------------	------------------------

社協会費の収納業務

茅野市社協は、主な自主財源の一つとなっている会費を、当法人の趣旨にご理解・ご賛同をいただくなかで納めていただいております。納入いただく会費の金額によって普通会员、賛助会員、特別会員となっています。平成30年度の協力世帯は8,444世帯で、全世帯の36.5%でした。普通・賛助・特別すべてで協力世帯が減少しました。広報紙やホームページでのより一層の啓発を行い、あらゆる機会を通じて社協活動に対する理解とともに社協会費の趣旨を伝え、納入の協力をお願いしていく必要があります。

平成30年度 会費会員別集計表

地区名	普通会员 (1~1,999円)		賛助会員 (2,000~2,999円)		特別会員 (3,000円以上)		合計	
	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)
ちの	1,450	1,420,930	101	202,000	51	165,000	1,602	1,787,930
宮川	1,454	1,420,030	65	130,000	39	143,000	1,558	1,693,030
米沢	453	443,900	17	34,000	15	54,000	485	531,900
豊平	918	906,070	12	24,000	19	68,000	949	998,070
玉川	1,625	1,586,576	50	100,000	25	133,000	1,700	1,819,576
泉野	343	336,132	12	24,000	8	26,000	363	386,132
金沢	472	464,900	30	60,000	8	31,000	510	555,900
湖東	441	437,525	16	32,000	9	32,000	466	501,525
北山	489	484,000	13	26,000	7	21,000	509	531,000
中大塩	270	259,750	18	36,000	13	43,000	301	338,750
地区外	0	0	0	0	1	3,000	1	3,000
合計	7,915	7,759,813	334	668,000	195	719,000	8,444	9,146,813

(H30.7.1 世帯数 23,133 件 収納率 36.5 %)

(平成29年度 会費実績)

地区名	普通会员		賛助会員		特別会員		合計	
	世帯数	金額	世帯数	金額	世帯数	金額	世帯数	金額
合計	8,013	7,887,138	349	698,000	209	759,000	8,571	9,344,138

(H29.7.1 世帯数 22,849 件 収納率 37.5 %)

(2) 広報・啓発事業

1,335,906円

ホームページの更新

誰もが見やすく、タイムリーな情報提供を行うため、ホームページの随時更新を行いました。今後は、より多くの方にタイムリーな情報を提供できるよう、Facebook、Twitter、LINE、Instagram等のSNSの活用を検討していきます。

広報紙の発行

社協活動や地域活動情報の提供を行うため社協広報紙「やらざあ」の発行を行いました。通常版(4ページ仕様)4回、特大号版(8ページ仕様)2回の計6回発行し、市民の方から多くのご意見をいただきました。

- ・発行：年6回
- ・全戸配布：19,100部

第55回茅野市社会福祉大会の開催

10月14日(日)茅野市ひと・まちプラザにて開催しました。平成29年度から内容を一新し、これまで来場いただけなかった市民にも来場いただき、多くの方から好評をいただきました。

- ・テーマ：『であい ふれあい ささえあい』 ~笑顔あふれる福祉大会~
- ・社会福祉貢献者表彰

○地区社会福祉協議会の会長として長年ご尽力いただき退任された方
1名

本会の社会福祉事業のため、高額寄付をされた方又は団体

- 9名 7団体
- 本会の社会福祉事業のため、通算10年以上継続寄付をされた方又は団体
- 5団体
- 本会の社会福祉事業で、功績が特に顕著である方又は団体
- 2団体
- 本会の賛助会員又は特別会員として通算10年以上継続して会費を納められた方又は団体
- 35名
- ・学校・企業による福祉活動取り組み発表
 - 協力：東部中学校生徒会 ほっこらサロン（下槻木） 諏訪東京理科大学 田中 洵
- ・コンサート
 - 協力：永明中学校吹奏楽部
- ・障害福祉事業所による販売
 - 協力：ひまわり作業所、この街学園、ふくろう玉川、八ヶ岳福祉農園、精明学園、ぞうさん、長峰中学校たいよう学級
- ・福祉施設利用者の作品展示
 - 協力：市内福祉施設 7施設
- ・無料カイロプラクティック
 - 協力：のぞみ施術院
- ・福祉用具紹介コーナー
 - 協力：介護センター花岡
- ・コーヒー販売
 - シャララCafé男の元気塾
- ・手話講座
 - 協力：茅野市手話サークル
- ・ニュースポーツ（ボッチャ）体験コーナー
- ・社協美人部特製カレー販売
- ・スタンプラリー
- ・大抽選会
 - 協力：市内企業等 17団体

2 小地域福祉活動推進・支援事業

(1) 小地域福祉活動推進事業 48,400,000円

地区社会福祉協議会活動の支援

各地区の住民自身による福祉活動を推進していただくために、地区社協活動を各地区コミュニティセンターと協働で支援しました。

地区社協の主な活動

- ・地区地域福祉行動計画の推進（第2次計画実施4年目）
- ・地区ボランティア活動費の助成
- ・福祉推進委員活動費の助成
- ・福祉推進委員連絡会や研修会の開催
- ・福祉まつり等の開催
- ・戦没者等追悼式の開催
- ・情報紙の発行
- ・高齢者等の昼食会や配食
- ・高齢者と子どもの交流活動

- ・赤い羽根共同募金活動
- ・社協会費収納協力 など
- ・生活支援体制整備事業への参画
福祉推進委員活動の支援

支えあいマップづくりをはじめ、福祉推進委員活動全般について相談に応じ、活動を支援しました。

福祉推進委員研修会を開催（茅野市共催）

福祉推進委員、地区社協関係者等を対象に研修会を開催しました。

- ・期 日：平成31年2月16日（土）
- ・会 場：茅野市役所 大ホール
- ・参加者：約250名
- ・内 容：基調説明 1．福祉推進委員の役割ってなに？
～その背景と必要性について～
2．福祉推進委員の取り組みについて
3．生活支援体制整備事業を各地区で進めています

基調講演 公益財団法人 長野県長寿社会開発センター

主任シニア活動推進コーディネーター 戸田 千登美 様

（演題）ゆるやかなつながりから生まれる支え合いの地域づくり

福祉推進委員を中心とした各区・自治会の取り組み

- ・福祉推進委員会の組織化
- ・高齢者の食事会やお楽しみ会、配食
- ・地区単位で福祉推進委員連絡会を組織化して情報交換、情報紙発行、研修会を開催
- ・区内の花壇の整備やプランターへの花植え、畑作り
- ・お花見会、カレー会
- ・福祉推進委員だよりの発行
- ・福祉や生活の課題を話し合う懇談会
- ・福祉についての講演会や研修会、学習会
- ・困りごとなどについて個別の訪問聴き取り調査
- ・ボランティアや高齢者クラブなどの関係団体による定期的な情報交換
- ・災害時要援護者支えあいマップ（おたがいさまっぷ）づくり
- ・自主防災組織等と協働しての避難訓練
- ・買い物やゴミ出しなどの個別支援活動
- ・区内の見回り、除雪
- ・高齢者宅の訪問、見守り、声かけ など
住民の日常生活支援（個別訪問支援活動の実施）

コミュニティソーシャルワーカーがひとり暮らしの高齢者世帯等を訪問し、必要に応じて様々な支援活動を行いました。

個別訪問及び小地域福祉活動の状況（訪問延べ件数及び4層、5層の会議参加件数）

（p39、40）参照

「こんにちは！社協です！」お便りの発送

市内のひとり暮らし高齢者を対象に、孤独感の解消、安否確認、情報提供、ニーズ把握を目的に年4回発送しました。

この取り組みは、市内郵便局と連携することで、地域の見守りや安心なまちづくりの充実に目的としています。

お便りは郵便局員に対象者へ手渡しと声かけを依頼するとともに、配達時に気づいたことや心配なことがあった場合は、担当のコミュニティソーシャルワーカーへ情報を伝えていただい

ています。

年間4回発送（4月 7月 10月 1月） 発送総数 1,863通

茅野市社協「かわら版」の活用と管理

市内郵便局（簡易郵便局を除く10局）に設置された掲示板「かわら版」を活用して、ボランティア活動や地域福祉活動の情報を発信しました。

生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターは、地域で高齢者が自立した日常生活を送るとともに、生きがいを持って暮らすために必要な生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を担います。平成28年度から、各地区に生活支援コーディネーターが配置され、各地区コミュニティセンターと各保健福祉サービスセンターと協力しながら、サービスの開発・創出や支え合いの地域づくりを目指して取り組みました。

平成30年度は、本事業の周知と各地域における様々な活動の把握や、地域の実情に合わせて、地域の目指す姿や課題の共有をする地域懇談会の開催、また、地区協議体の設置にむけた支援に取り組みました。

具体的な取組は、以下のとおりです。

- ・各地区及び各区ごとに作成している地域診断シートを見直し、住民の集いや地域の話し合いの場でさらに活用しやすいシートにしました。
- ・事業の主担当である市高齢者・保険課、地区コミュニティセンターや保健福祉サービスセンター、生活支援コーディネーターによる4者協議を各地区で開催し、4者の連携強化と支えあいや見守り活動などができるような地域づくりをするための支援体制の充実に向け、事業の振り返りと具体的な進め方を検討しました。10地区で年2回（春と秋）開催。
- ・各地区で地域の多様な主体が参画し、地域の課題や強みを共有し、支えあいや見守り、社会参加ができるような地域づくりについて検討する場となる協議体の設置に向けた支援を行政と協働して取り組みました。（地区協議体の設置 7地区 平成31年3月31日現在）
- ・各地区で、区長会、地区社協や福祉推進委員連絡会、民生児童委員定例会等において、事業の説明を行い、理解と協力依頼に努めました。
- ・区・自治会で可能なところから地域懇談会を開催し、地域住民主体の支えあいの必要性や地域の現状（地域の課題や今行っている様々な活動など）について話し合いを行いました。玉川地区では、諏訪中央病院主催の「ほろ酔い座談会」と組み合わせることで、懇談会を開催しやすい環境を得ることができました。（50か所、79回）
- ・地域の支え合いや集いの場など、市内の活動を紹介した情報紙を作成し全戸配布しました。地域の会議やサロン等で、情報紙を活用して支え合いの地域づくりへつなぐ働きかけに取り組みました。

茅野市社協情報紙やらざあへ、サロンや居場所など地域の様々な活動の紹介と地域懇談会の様子を掲載し広報に取り組みました。

- ・各地域で事業を展開していくため、生活支援コーディネーターのスキルアップを目指した研修を実施しました。

開催日 7月10日（火） 8月27日（月）

講師 地域クリエイター/茅野市市民活動参与 福島明美氏

内容 ファシリテーターの役割（場づくり、住民の思い、課題整理、合意形成）

- ・諏訪広域圏内で生活支援コーディネーターの活動状況を共有し、これからの活動について協議するため、諏訪ブロック社協に提案して諏訪6市町村の生活支援コーディネーター連絡会を開催しました。

（2）福祉団体助成事業

3,766,416円

福祉団体助成

社会福祉団体（6団体）へ助成金を交付しました。

- ・茅野市社会を明るくする運動実行委員会 80,000円
- ・茅野市手をつなぐ育成会 50,000円
- ・茅野市赤十字奉仕団 30,000円
- ・茅野市保護司会 90,000円
- ・茅野市民生児童委員協議会 200,000円
- ・茅野市少年警察ボランティア協会 30,000円

社協会費交付

社協会費実績の20%分と地区団体への助成金分を合わせて地区社協へ交付金を交付しました。

- ・交付額 3,286,416円

3 相談・生活支援事業

(1) 総合相談事業

331,000円

心配ごと相談

福祉・生計・住宅・家族その他の心配ごとに対し、経験豊かな民生児童委員経験者が相談に応じ、悩みや問題を傾聴する中で、心の整理の糸口を探します。また必要に応じ、社協の法律相談などの専門相談窓口への紹介や他の専門機関への橋渡しをしています。平成30年度は、相談日以外に電話や来所による相談者の対応を職員が務める相談件数が16件と多く寄せられました。

- ・開設日時：毎週金曜日 午前9時～正午
- ・会場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相談員：民生児童委員経験者 計5名（相談日1名体制で対応）
- ・相談件数

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
開設日数	50日	47日	50日	50日	51日
相談件数	30件	18件	19件	28件	34件

- ・対応状況：助言：8件、他機関を紹介：18件、解決：4件（重複有）

結婚相談

6名の相談員が結婚の相談に応じています。相談所が「ひと・まちプラザ」に移ってから、本人の来所割合が減少し成婚数も少なくなっていることから、新たに相談所の案内看板を見やすい場所に設置しました。

- ・開設日時：毎月第1・第3土曜日 午後1時～午後4時
毎月第2・第4金曜日 午後6時30分～午後8時30分
- ・開催回数：46回（月4回）
- ・会場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相談員：委嘱した結婚相談員（相談日には3～4名体制で対応）
- ・登録者数：男性：71名（21名）、女性：42名（8名）（ ）内は年度登録者数 平成31年3月31日現在
- ・成婚数：2件 登録者同士の成婚数：無し（-4件）（ ）内は前年度比
- ・相談件数

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
男性	71件	80件	181件	181件	229件
女性	50件	53件	95件	95件	82件
計	125件	133件	276件	276件	311件
本人来所率	84.8%	72.2%	75.4%	96.4%	98.1%

司法書士の法律相談

身近な法律相談窓口として、住民のあらゆる生活問題を受け止め、問題解決につなげていくための、専門的な助言（小額訴訟手続きや多重債務に関する助言等）や情報提供を行っています。

また、必要に応じて弁護士など専門機関への紹介を行っています。相談の内訳としては、不動産の相続についての相談が多く寄せられました。

- ・開設日時：毎月第2水曜日 午後3時～午後5時 完全予約制（1日3件まで）
- ・会場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相談員：司法書士会茅野地区会（成年後見制度研修修了者4名）
- ・相談件数

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
開設日数	12日	12日	12日	12日	12日
相談件数	21件	19件	23件	30件	17件

- ・対応状況：解決:12件、他機関を紹介:2件、その他:7件

心の健康相談室

家族のことや職場などでの人間関係により精神的に不安定な状態にある方に対し、問題解決に向けて適切なカウンセリングを行い、心の健康相談に応じています。

心配ごと相談などからの紹介を受けて、随時開設をしています。相談援助内容は完全予約制の面接相談と、相談者によっては電話相談にも応じています。平成30年度は相談(予約)はありませんでした。

- ・開設日時：随時（祝祭日及び年末年始を除く）
- ・会場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相談員：精神保健福祉士 1名
- ・相談件数

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
相談件数	0件	0件	0件	2件	1件
相談来訪者数 (延べ)	0名	0名	0名	2名	1名

- ・対応状況：解決0件、他機関を紹介0件、その他0件

(2) シャララ・ほっとサービス事業

684,375円

安心して暮らせるために、ボランティア活動と公的なサービスの中間的な位置付けとして、茅野市社協独自で創設し、実施している住民参加型福祉サービスです。公的な福祉サービスやボランティア活動などで対応できない困りごとに対して、協力会員として登録した市民が手助けの活動をしています。利用を希望する方も会員登録をしていただき、1時間当たり700円～850円の利用料を負担しています。

介護保険の制度改正に伴い家事支援を含む生活支援サービスの在り方について見直しに取り組み予定でしたが、担当職員の欠員などの影響により実施できませんでした。

・利用実績

	高齢者世帯	障害者のいる世帯	子育て中の世帯
状況	骨折、足腰の悪い方、力仕事が困難な方、認知症、入院中・寝たきり、退院後間もない方など	心の病(うつ病、統合失調症等)を持つ方、視覚障害の方、車椅子の方、難病の方など	出産直後で親族支援が受けられない母親、出産直前の母親、就業中の母親など
援助内容	掃除、入院中の洗濯、食事作り、買い物、洗濯、話し相手、院内介助、可	掃除、院内介助、入院中の洗濯、リサイクルごみ分別出し、買い物、買い物付添	出産直後の買い物、掃除、調理など

	燃ごみ出し、散歩介助 など	い、話し相手 など	
利用 世帯数	26 世帯	6 世帯	6 世帯
利用 回数	484 回	47 回	58 回
延べ利 用時間	622 時間	55 時間	67 時間

登録状況 平成31年3月31日現在

- ・登録利用会員数：54名（内 新規15名）
- ・登録協力会員数：35名

(3) ひとり暮らし安心コール事業

202,000円

ひとり暮らしの高齢者と定期的に電話でコミュニケーションを図ることにより、安否確認や健康状態、生活状況を確認するとともに、孤独感の緩和を目的に実施しました。

平成29年度に実施したニーズ調査で利用を希望する方が32名という結果を受け、平成30年度は、新たに利用者の募集を行い、同時に利用者の増加に備え、協力員の募集も行いました。その結果、利用者11名、協力員8名の増員がありました。

- ・事業内容：最大週2回本人の希望する曜日と時間に協力者より電話をかける。
- ・協力員：10名（平成31年3月31日現在）
- ・対象人数：おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者 延べ利用人数：175名
- ・通話実績（不在回数除く）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	64	67	78	91	90	85	93	85	88	89	83	87	1,000

(4) 一般介護予防通所事業（塩つぼの湯デイサービス）

20,240,589円

要介護状態等になるおそれの高い高齢者（2次予防事業対象者）を、通所サービスを利用することによって要介護状態になるのを未然に防止することを目的に、高齢者福祉センター塩壺の湯において、送迎・食事・相談・介護予防メニュー（選択）及び交流活動等を実施しました。また、看護師による運動機能評価や個別指導を実施しました。

- ・実施日：毎週火・水・木・金・土（祝日及び年末年始は除く）
- ・利用時間：午前10時～午後4時
- ・実施状況

（定員12名/日）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	20	20	22	21	21	21	22	20	20	20	20	21	248
登録 者数	55	51	53	55	52	52	50	51	52	49	55	56	631
平成29 年度	57	57	54	56	55	54	57	57	57	55	56	53	668

日々、送迎、食事提供のサービスに加え、身体機能維持向上のための体操や口腔体操等を実施。また利用者が個別に選択して行えるプログラムとして調理、手芸、工作、脳トレ、筋トレ等を導入。職員や利用者同士が一緒に行う事で他者との交流を図ることができました。手芸や工作では自宅にある資源物等を使うことで低予算で作ることができ、利用者が自宅に帰って同じものを工夫して作ってくることが増え、生活意欲を高められるよう支援できました。

○毎日行う集団プログラムについては以下参照

4月	・工作（こいのぼり） ・花見（永明寺山公園墓地、運動公園、聖光寺） ・イゴボール	10月	・ポッチャ、DAM テーブルホッケー ・料理レク（かぼちゃコロッケ）
5月	・料理レク（カレー会、草餅） ・手芸（布で作る立体のあじさい） ・ボーリング	11月	・ボーリング ・紅葉狩り（長円寺） ・手芸（牛乳パックでカゴ作り）
6月	・手芸（布で作るてるてる坊主） ・イゴボール ・DAM（通信カラオケ機器を用いた運動）	12月	・料理レク（餃子、クリスマスケーキ） ・工作（サンタの飾り）
7月	・ポッチャ ・夏祭り準備（ちょうちん作り）	1月	・すぐろくで体操、脳トレ・ポッチャ ・工作（新聞紙を使ったダルマ作り）
8月	・夏祭り（焼きそば等料理、宝釣り等） ・工作（ペットボトルを使った風鈴作り） ・料理レク（みたらし団子） ・自分でできる体操についての指導	2月	・料理レク（恵方巻） ・DAM
9月	・イゴボール、ポッチャ ・手芸（毛糸を使ったアイスクリーム） ・工作（立体ぶどう） ・外出レク（自由農園にて買い物）	3月	・風船バレー、ボールを使いリズム体操 ・工作（ペットボトルキャップでひな人形作り） ・料理レク（クッキー）

毎月3～4グループのボランティアを招き、地域住民との交流も図っています。

身体・認知機能の評価、個別の面談による健康状態、ADL評価を6ヶ月に1回行っています

5) 外出支援事業（移送サービス）

4,906,522円

一般の交通機関を利用して外出することが困難な市民の生活圏の拡大と社会参加を支援するために、福祉車両4台で送迎サービスを実施しています。

平成30年度は、運行協力員13名とタクシー業者2社により実施しました。

利用継続が長期間となっている利用者に対しては、身体状況等の再確認を行い、送迎時の訪問介護員の導入や車いすの利用を促すなど、安心・安全にサービスが実施できるよう務めました。

・延利用人数：3,189名 ・新規登録：6名

・利用件数（平成29年度と比較し、総件数で489の減）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	255	289	307	301	282	272	279	282	265	233	205	219	3,189

(6) 配食サービス事業（おたっしゃ弁当）

11,390,275円

ひとり暮らし高齢者や障害のある方等で食事作りが困難な方を対象に、昼食を毎日お届けします。また、配達員による見守り活動としても有効に機能しています。

平成30年度は、今後消費税増税や食材費値上げが予想される中、配食サービス利用者に、補助対象を夕食まで拡大すべきかを含めたアンケート調査を実施し、事業の見直しに取り組みました。令和元年度からは、昼食か夕食どちらかを選択できることとしました。

・委託業者：信州配食サービス

・実施状況

利用者（対象者）	人数
65歳以上のひとり暮らしの方	224名
高齢者のみの世帯で、食事づくりが困難な方	161名

利用者（対象者）	人数
ひとり暮らしの障害者	16名
寝たきりの人がいる2人世帯	0名
その他 昼間が高齢者のみとなり、調理が困難な方	106名
昼間は障害者のみとなり、調理が困難な方	23名
社協会長が必要と認めた方	34名
合計	564名

・利用実績（平成29年度と比較し、4,723食の増）

延べ利用者数	新規利用者数	延べ配食数	おかずのみ
2,551人	135人	48,881食	31,765食

（7）ファミリー・サポート・センター事業

3,000,000円

子どもの一時的預かり等の援助を行いたい人（援助会員）と、援助を受けたい人（依頼会員）を登録し、

その会員間による相互援助活動を行うことにより、安心して仕事や子育てができる環境づくりの支援に取

り組みました。5月に援助会員養成講習（計5日間）を開催し、9名の援助会員を養成しましたが、援助会員として登録いただけた方は、そのうちの2名でした。

利用会員が平成29年度と比較して11名増加しました。そのため、援助の回数と時間も比例して増加しましたが、一方で援助会員が5名減少したため、複数の利用会員を担当することになりました。

なお、平成31年(令和元年)度から、茅野市が直営で実施するとの方針が年度途中で示されたため、茅野市教育委員会こども課に事業の円滑な移行がおこなわれるよう心掛け、引継ぎを行いました。

登録状況 平成31年3月31日現在

・援助会員：16名 ・利用会員：52名

利用実績

・依頼件数：300件（内、援助成立件数：275件）

・延べ支援子ども数：334名・延べ稼働援助会員数：265名・延べ援助時間数：480.5時間

援助内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
登園・登校前の預かり	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
降園・下校後の預かり	5	7	5	8	10	8	16	14	18	8	0	0	99
休日の預かり	5	1	0	2	2	2	1	3	0	0	0	1	16
児童病気時の預かり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保護者病気時の預かり	0	0	6	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8
保護者外出時の預かり	2	7	8	6	0	1	4	2	1	1	1	2	35
保育園・学校その他への送迎	27	22	11	22	22	12	22	27	41	36	42	44	216
その他	1	2	0	0	2	2	0	0	1	1	3	3	8
合計	41	39	30	38	36	27	43	46	61	59	65	65	383

4 権利擁護事業

（1）日常生活自立支援事業

2,135,697円

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方に対して、住み慣れた地

域の中で生活ができるように、福祉サービスを利用するときの手続きや利用料の支払いのお手伝い、または日常生活に必要な預貯金の出し入れや書類等の預かりを支援します。長野県社協が事業の実施主体となり、茅野市社協は富士見町と原村を管轄する基幹的社協に位置付けられています。

茅野市社協では、担当職員（専門員）のほか、生活支援員を茅野市2名、富士見町4名、原村1名の7名を配置しています。生活支援員は、利用者の訪問を中心に預貯金の払い戻しや福祉サービスの利用料等の支払い、金銭の受け渡し等の実務を行い、専門員と連携しながら利用者の抱える課題の解決を図ると共に、事業の普及、啓発に努めています。平成30年度は、利用者の判断能力の低下に伴い、成年後見制度への移行に繋がったほか、富士見町在住の契約締結者が増加していることから、事業の単独実施を富士見町社協に働きかけ、令和元年度に事務移管をすることとなりました。

なお、平成30年度は契約締結準備中に亡くなられた相談者が2名いました。

- ・相談件数：58,984件
- ・契約内容：新規契約締結件数：10件 解約件数：12件
実契約件数：52件（平成31年3月31日現在）
（内訳：茅野市：37件、富士見町：12件、原村：3件）

（2）法人後見事業 31,680円

茅野市社協が成年後見人、保佐人もしくは補助人になり、判断能力が不十分な人の成年後見制度に基づく後見事務（財産管理や身上監護）を行い、高齢者や障害者の権利擁護を図ることを目的に支援活動に取り組みました。

平成29年度から継続して、3件の法人後見（内1件は保佐類型）を受任し、後見業務の実践にあたりました。

法人後見運営委員会では、4名の方の受任審査や支援方針の検討を行いました。平成30年度の新規受任はありませんでした。

- ・法人後見運営委員会：2回（5月、9月）
委員：弁護士、司法書士、内科医、障害者相談支援専門員、市地域福祉課長（計5名）
- ・法人後見件数：3件（新規受任件数は0件）
- ・後見活動内容：不動産売買手続き、入院時の日用雑貨購入に伴う金銭管理、施設入所契約ほか

（3）茅野市・富士見町・原村成年後見支援センター 4,256,000円

判断能力が十分でない知的障害者及び精神障害者（認知症高齢者を含む）が住み慣れた地域で安心して生活を維持できるよう、成年後見制度の普及、啓発、相談、その他、円滑な制度利用促進のための支援等を実施し、障害者の権利擁護を図ることを目的に、茅野市・富士見町・原村の3市町村から受託しています。新規相談件数は昨年度と変わらないものの、継続相談件数が増加し、富士見町と原村からの相談件数が増えてきています。

- ・相談件数 新規相談件数：110件 継続相談件数：292件 合計：402件
- ・審判申立支援件数：6件（内、審判確定件数：2件、継続相談：4件）
- ・後見人候補者調整件数：5件
- ・啓発活動（学習会）：3回（内、センター主催の学習会：1回）
- ・後見団体連絡会の開催：1回（7月） ・3市町村関係者連絡会：2回（7月、11月）

5 生活困窮者支援事業

（1）生活福祉資金貸付事業 649,400円

低所得者、障害者世帯、高齢者世帯を対象に生活福祉資金の貸付を行い、世帯の自立を支援しました。

茅野市福祉事務所に設置されている「まいさぼ茅野市」の相談員と連携し、償還指導および

家計相談支援を毎月実施することで、借受者の家計改善に努めました。

長期借受者に対しては、長野県社会福祉協議会と連携しながら償還指導にあたり、4名が償還完了となりました。

また、生活福祉資金貸付事業の担当者会議や研修会への参加、支援機関との連絡会に出席し、職員のスキルアップや支援体制の充実に努めました。

《貸付実績》

資金名	平成30年度貸付		平成29年度貸付		貸付残額	
	件数	金額（元金）	件数	金額（元金）	件数	金額（利子含む）
総合支援資金	0	0円	0	0円	5	1,845,907円
離職者支援資金	0	0円	0	0円	0	0円
生活福祉資金	2	337,917円	2	553,000円	22	8,071,997円
不動産担保型長期支援資金	0	0円	0	0円	0	0円
臨時特例つなぎ資金	0	0円	0	0円	0	0円
合計	2	337,917円	2	553,000円	27	9,917,904円

- ・資金貸付内訳：総合支援資金（転宅費）1件、緊急小口資金 1件
- ・相談人数：107人
- ・償還完了件数：4件
- ・訪問、電話等による資金貸付相談：118件
- ・償還指導件数：32件

(2) 暮らしのつなぎ資金貸付事業

57,000円

市内の要保護世帯及び母子世帯等に対し、一時生活のつなぎ資金を必要とする場合の短期返済期間は6ヶ月以内)の無利子融資(貸付限度額4万円)で、自立を支援しています。

償還指導を丁寧に行い、昨年度からの長期借受者のうち3名が償還を完了しました。

《貸付実績》

資金名	平成30年度貸付		平成29年度貸付		貸付残額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
暮らしのつなぎ資金	3	57,000円	2	50,000円	5	133,800円

- ・相談人数：69人
- ・償還完了者：5人
- ・訪問、電話等による資金貸付相談：69件
- ・償還指導件数：25件

(3) 生活困窮者自立支援事業

540,000円

生活困窮者自立支援法に基づく家計相談支援事業を茅野市から受託し、家計における収支バランスが取れないなど、家計に問題を抱える対象者に対する相談支援を行いました。家計の管理とともに生活そのものを見直すことを促し、そのために必要な情報提供や専門的な助言・指導を実施しました。

平成30年度は「まいさぼ茅野市」からの要望もあり、貸付事業利用者以外の相談者・世帯(3世帯)に対しても、茅野市のこども課、都市計画課、税務課、水道課の職員と共に、相談支援にあたりました。

- ・実施件数：5件(内、支援中止：4件)
- ・支援終結件数：1件

(4) 『一握りのお米 支援米』の取り組み

不況やリストラ、倒産などの影響から野宿生活を余儀なくされている方々等の支援するため支援米を募り、各支援団体にお送りしました。支援米の合計額は、平成29年度と比較し881.7kg減少しました。

取り組み期間：10月15日（月）から12月7日（金）まで

収集実績：玄米：1,464.1kg 白米：1,333.8kg 支援米合計：3,679.6kg その他 野菜等
ご協力いただいた方々：7グループ 53個人（市民の方）
送付先：反貧困ネット長野、SOSネットワーク諏訪、NPO法人おおぞら（大阪府） 児童養護
施設つつじが丘学園 ほか

6 交流・ふれあい事業

(1) 希望の旅事業 370,000円

日ごろ、遠方に出かける機会の少ない障害のある方々を対象に、ゆっくりと楽しいひと時を過ごし、参加者同士の交流を深めていただくことを目的として実施しました。

実施日	行き先	参加者
9月26日（水）	《芦ノ湖を遊覧船でぐるり周遊》 箱根芦ノ湖めぐりと伊豆フルーツパークの旅に出かけてみませんか？	障害者 : 11名 家族介助者 : 12名 ボランティアなど : 3名 計26名

(2) 家庭介護者交流事業 414,500円

家庭で介護をされている方々を対象に、食事や温泉入浴、レクリエーションなどを通じて相互の情報交換や仲間づくりをしていただきました。また、介護や健康相談などに応じることで、悩みや心配事の解決を図りました。

・実施状況

実施日	行き先	参加者	内容
第1回 9月28日（金）	山梨特産のお買い物と信玄餅詰め放題	22名	昼食 長寿村・権六 桔梗屋本社工場見学
第2回 2月27日（水）	蓼科東急ホテル	21名	温泉入浴、昼食会、日頃の想いを川柳に

7 ボランティア・市民活動推進事業

(1) ボランティア・福祉教育推進事業 2,691,305円

出前福祉教室

高齢者や障害のある方との交流や、車いすやアイマスク体験、疑似体験等を通して、児童や生徒、先生方と一緒に『ともに生きること・ともに学びあうこと』を考えていただくことを目的に、市内の小学校・中学校・高等学校で出前福祉教室を実施しました。

平成30年度は、生活課題を抱える方への個別支援と住民が中心となって取り組む地域活動への支援を通してコミュニティソーシャルワーカーが把握したニーズや情報を活かしながら、福祉教育に関わることで、住民一人ひとりが「ふだんのくらしのしあわせ」を他人事ではなく自分事として捉え、子どもから大人の誰もが福祉に関心を持ち、お互いが支え合える地域づくりへつながるように取り組みました。

実施年度	開催数	開催学校数	延参加者数
平成29年度	46回	11校	1,222名
平成30年度	53回	9校	1,419名

社会福祉普及校指定事業

小学校・中学校・高等学校を『社会福祉普及校』として指定し、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、他人に対する思いやりの心や主体性を育てるとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的として、各校に30,000円の補助金を交付しました。

学校名	活動内容
永明小学校	「いろいろな人と交流しよう」 特別支援学校・特別支援学級児童、幼稚・保育園児、ボランティア、地域の方と交流
宮川小学校	“なかよしオリピック”“わくわくオリピック”の開催、視覚障害者による講演会の開催、募金活動、福祉ボランティア委員会による車椅子体験
米沢小学校	永明小学校児童との交流、人権歌留多遊び、性教育における男女の協力についての学び、高齢者の視覚・聴覚・手の動きの低下の体験
豊平小学校	点字体験、点字教室の開催、ガイドヘルプ体験
玉川小学校	「花で彩る玉川小学校」で年2回花を育て、入学式・卒業式に校舎内外に設置し来校者・地域住民の心を彩る。
泉野小学校	視覚・聴覚・身体障害者との交流とガイドヘルプや手話・点字等の体験 グループホーム入所者と保育園児との交流、募金活動、花の栽培と草取り
金沢小学校	視覚障害者と点字体験で交流、聴覚障害者と手話で交流、身体障害者と車椅子バスケット体験で交流、“なかよし集会”を通して相互を理解
湖東小学校	視覚・聴覚・身体障害者とガイドヘルプ・手話・点字・車椅子バスケットを通して交流、高齢者の理解と交流、ユニバーサルデザインの理解 わくわく講座「ボランティア講座」で視覚障害者と交流を通して福祉を理解
北山小学校	聴覚障害者との交流と手話体験、人権標語作り、大縄跳び、人権カルタ 身体障害者と車椅子バスケットを通して交流、SST二者展開カードで人権感覚を育成
永明中学校	ちの・米沢地区の高齢者との交流、ちの保育園児との交流
長峰中学校	3校（宮川小・茅野高）合同清掃活動、PTA・育成会と一緒に地域の花壇作り
北部中学校	人権講演会「命の大切さ」の開催（講師：宮越耀子）
東部中学校	高齢者クラブとの交流、身体障害者との交流と車椅子バスケットの体験 石巻市住民に季節の便り、募金活動（九州北部豪雨災害） 地区内の独居高齢者への手紙「温もりレター」
茅野高等学校	やすらぎ喫茶(手作り菓子を持参で高齢者施設を訪問し利用者と交流)、国際交流体験活動
小学校：9校 中学校：4校 高等学校：1校 合計：14校 参加人数：3,793人	

夏のボランティア体験「サマーチャレんじ2018」

活動プログラムを体験していく中で、ボランティアへの正しい理解と関心を深め、今後の活動へのステップにすることを目的に実施しました。

実施日	内容	協力施設	参加者
7月20日(金) ～ 8月17日(金)	高齢者や障害者の福祉施設や保育園等でボランティア体験を通じ、施設利用者や園児等との交流を深める。	市内の32施設のうち、実際の体験施設は32施設	80名（小学生10名、中学生57名、高校生8名、福祉大生2名、専門学校生1名、大学生1名、一般1名）

地区（区・自治会）ボランティア活動支援

地区（区・自治会）では、“閉じこもり”や“孤独”を防ぎ、「寝たきり予防・認知症予防」につながるといわれている『いきいきサロン活動』をはじめ、各集落で工夫をしてボランティア活動が行われており、住民同士の交流の場が広がっています。

地区ボランティア活動の内容を把握し支援内容を検討・実施するため、各地区や区・自治会におけるボランティアの会の会議やサロン等に出席しました。

・開催：地区4か所、区・自治会46か所、計50か所

開催内容	開催回数		利用者数		ボランティア数	
	地区	区・自治会	地区	区・自治会	地区	区・自治会
いきいきサロン（お茶会）	2	82	111	1,143	17	649
いきいきサロン（昼食会）	6	129	258	2,438	131	1,249
宅配（配食）弁当	4	27	1,100	2,158	223	436
その他（料理講習会、世代間交流・例会）	9	51	263	1,808	108	548

活動内容

- ・高齢者等への弁当の宅配：地区社協、民生児童委員、福祉推進委員と協働
- ・高齢者等を対象の昼食会：地区社協、民生児童委員、福祉推進委員と協働
- ・料理教室、おやき作り、まゆ玉作り
- ・児童、生徒の登下校の見守り
- ・育児相談会での支援と協力
- ・世代間交流（しめ縄づくり、水鉄砲づくり、カレーづくりなど）
- ・地区のコミュニティ祭りへ協力
- ・防災訓練、炊き出し訓練等への協力
- ・清拭布づくり ほか

地区ボランティアの会連絡会の開催

地域で活動している地区ボランティアの会と市社協の関りや支援の充実を目的に、地区・行政区の代表者のみなさんにお集まりいただき、意見交換を行いました。

	実施日	会場	参加者	内容
第1回	4月24日（火）	茅野市ひと・まちプラザ・集会室	29名	・レク用品やゲーム紹介 ・グループワーク 活動で工夫したこと 工夫きそうなこと ・発表
第2回	12月11日（火）	茅野市ひと・まちプラザ・301	6名 （3区）	・平成30年度活動報告書について ・サロン・会議への出席について ・市バスについて意見交換

茅野市ボランティア交流会の開催

茅野市社協と活動者がつながり、活動が無理なく持続できることや活性化への支援を目的に、市内のボランティア活動団体にご参加いただき、活動発表や意見交換を行いました。

実施日	会場	参加者	内容
12月11日（火）	茅野市ひと・まちプラザ 集会室	40名	～もっと知りたい！もっと聞きたい！！ あたらしいサロンのかたち～ ・市内のサロン活動4団体の活動紹介 ・見本市スタイルで自由に意見交換

地区ボランティアグループの先進地視察

地区ボランティアグループ会員の資質向上や情報収集と交流を目的として実施しました。

開催日	実施グループ	視察先
9月25日（火）	金沢地区ボランティアの会	原村「おいでなして原宿」
10月10日（水）	玉川地区ボランティアの会	山ノ内町社会福祉協議会 「わくわく商店街」

自主的で継続的なボランティア活動の育成・支援を目的に、グループ活動の事業費補助を行いました。

ボランティアグループ活動助成金交付

茅野市における地域福祉の向上を目指し、福祉活動に関する地域住民及び民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成及び助成することを目的として、ボランティアグループの活動に対し、必要な資金の助成を行いました。（p31～34）参照

平成29年度の茅野市における赤い羽根共同募金の実績が減少したことにより、平成30年度の茅野市への配分金額も減額となりました。そのことにより、市内の配分金すべてを減額しています。ボランティア活動助成金については、すべての配分対象団体について、申請額の一律82.9%の減額交付とさせていただきました。

・交付実績合計：35団体 1,211,169円

どっこいしょ広場の運営管理

市民が自由に集える場所として、平成14年3月にベルビア1階に開設されたどっこいしょ広場を、気持ち良く使っていただくため、運営管理を行っています。現在2つのボランティア団体（ボランティアグループどっこいしょ、ともしび会）が年間を通して月1回の活動を続けています。また、掲示板やカタログスタンドを活用して、ボランティア活動・市民活動の情報発信が行われています。

ボランティア活動相談・コーディネート

相談と支援

市民やボランティア・市民活動団体などからの相談に対し、情報提供や助言、ゆいわーく茅野など関係機関へのコーディネートを行いました。

・相談件数：65件

備品の貸し出し状況

備品名	貸出件数
福祉用具（高齢者疑似体験セット・アイマスク・点字器セットなど）	11件
福祉ゲーム（HUG、クロスロード）	2件
電気機器（リズムボックス・ピンマイク・プロジェクター）	32件
テント	1件
布ボール	16件
車いす（自走用・介助用）	64件
松葉杖	1件

(2) 市民活動センター事業 11,292,149円

ゆいわーく茅野において、管理運営計画に定められた事業の6つの柱に沿った市民、市、社協の三者協働による事業を実施しました。

詳細はゆいわーく茅野より提供された、別紙平成30年度市民活動センター『ゆいわーく茅野』事業報告（p35～38）をご覧ください。

○ ボランティア保険加入状況

ボランティアの方々が安心して活動に取り組めるよう、加入促進を図りました。

保険の種類	掛金額（単価）	件数	人数
活動保険 基本タイプA	年350円×人数	101件	1,618名
活動保険 基本タイプB	年510円×人数	2件	2名
活動保険 天災タイプA	年500円×人数	6件	13名
活動保険 天災タイプB	年710円×人数	1件	1名
行商用保険（A1プラン）	1日28円×人数	89件	2,774名
行商用保険（A3プラン）	1日248円×人数	1件	29名
行商用保険（Cプラン）	1日28円×人数	24件	1,245名
送迎サービス補償（Aプラン）	1日20円×延利用者数	2件	170名
送迎サービス補償（Bプラン）	年間2,000円×法定乗車定員数計	0件	0名
福祉サービス総合補償（Aプラン）	1日17円×人数	1件	17名
福祉サービス総合補償（Bプラン）	1日28円×人数	1件	720名
福祉サービス総合補償（Cプラン）	1日42円×人数	3件	417名

・保険請求件数：2件

・保険金支給件数：1件

・大規模災害特例：1件（天災タイプA：0名、天災タイプB：1名 上記集計に含む）

(3) 災害対応

台風24号による大雨で茅野市内で災害が発生したため、以下のような対応をしました。

10月1日(月)に茅野市災害対策本部の指示により、行政と茅野市社協の協働で、特に大きく被災された上原区(一部)で、被災家屋調査等状況調査を実施しました。

さらに、被災者宅を回り、タオルやスコップ等を貸し出し、被災住民と一緒に使用不能となった家財の搬出などの作業を行いました。

10月2日(火)に2回目の訪問を行い、被災者のニーズを把握し、人材も含めた支援希望の有無を確認しました。その結果、自宅の庭の泥出しの依頼が1件あり作業を行いました。

8 共同募金配分金事業

4,825,739円

平成30年度は、茅野市社協から地区社協事業への助成、小学校・中学校・高等学校の福祉活動への助成、市内ボランティアグループへの活動助成を行いました。

各学校の福祉活動助成及びボランティア活動助成の詳細については、ボランティア・市民活動センター「社会福祉普及校」(p22)及び「ボランティア活動助成金」(p31~34)参照

・茅野市社協への配分	792,831円
・小学校・中学校・高等学校の福祉普及活動への配分	420,000円
・地区社協への配分	2,291,739円
・ボランティアグループへの配分	1,211,169円
計	4,715,739円

茅野市共同募金委員会事務局

長野県共同募金会茅野市共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動全般のとりまとめを行いました。

- ・募金期間：10月1日～12月31日
- ・募金総額：8,195,363円(H29年度8,307,739円)

災害援護金の取り組み

市内で発生した火災・風水害等で住家が半焼、半壊、床上浸水以上の被害を受けた世帯に、お見舞いとして災害援護金を交付しました。

- ・10世帯 110,000円

居宅介護等事業

1 居宅介護支援事業

9,358,421円

介護支援専門員が依頼を受け、利用者に応じた適切な「居宅介護サービス計画書」を作成し、計画に基づいたサービスが提供されるようサービス提供事業者等と連携を図り、利用者が安心した在宅での生活を送れるよう援助しました。

事業実績表

居宅介護事業所													
居宅介護支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用者数	59	60	63	60	64	65	60	60	65	59	59	58	732
H29年度 "	56	54	58	60	56	57	56	55	55	52	48	51	658
介護予防利用者数	6	6	6	6	7	7	9	8	7	7	7	7	83
H29年度 "	4	4	5	5	5	5	6	5	6	6	6	6	63

2 訪問介護事業

60,465,413円

訪問介護事業所のホームヘルパーが、高齢者及び障害者宅を訪問し「訪問介護計画書」に沿い、

安心した在宅生活が送れるよう身体介護・生活援助の介護サービスを提供しました。

事業実績表

訪問介護事業所													
訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	135	134	135	135	130	125	128	125	127	117	108	113	1,512
身体介護 回数	460	512	503	496	486	425	458	440	422	373	370	401	5,346
生活援助 回数	395	419	379	394	389	354	364	315	279	287	303	346	4,224
身体生活 回数	256	293	323	369	358	349	318	276	234	222	200	229	3,427
介護予防 回数	183	192	182	182	175	168	201	203	184	186	179	177	2,212
計 回数	1,294	1,416	1,387	1,441	1,408	1,296	1,341	1,234	1,119	1,068	1,052	1,153	15,209
H29年度 "	1,410	1,506	1,572	1,541	1,490	1,514	1,455	1,444	1,459	1,424	1,381	1,552	17,748

障害者サービス(居宅介護)													
(人)													
総合支援法 (身障・知的・精神)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	15	17	16	20	18	18	19	20	18	19	18	18	216
H29年度 "	21	20	18	16	19	19	18	18	17	20	15	17	218

障害者サービス(同行援護)													
(人)													
総合支援法 (身障・知的・精神)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
H29年度 "	4	4	4	4	4	3	3	3	3	4	3	3	42

障害者サービス(移動支援)													
(人)													
自立支援法 (身障・知的・精神)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	1	1	2	4	1	2	2	3	1	1	1	1	20
H29年度 "	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

3 西部デイサービス事業

57,859,966円

西部デイサービスセンターにおいて、「通所介護計画書」に沿った入浴、排泄、食事の介助、機能訓練その他必要な介護サービスを提供しました。

事業実績表

西部デイサービスセンター													
通所介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険実人数	56	57	55	55	54	53	53	52	47	46	48	51	627
延利用回数	481	509	498	498	494	469	530	448	390	393	366	455	5,531
H29年度 "	472	535	490	509	495	477	491	457	442	401	431	468	5,668
介護予防実人数	10	10	10	10	9	11	12	12	12	11	12	12	131
延利用回数	52	60	63	61	60	62	76	78	66	67	66	75	786
H29年度 "	44	43	45	37	48	48	48	48	61	54	46	54	576

障害者福祉サービス事業

1 障害者相談支援事業

1,458,482円

諏訪圏域にお住いの障害者・障害児の方やご家族、市町村などから相談を受け、障害のある方が福祉サービスを利用する際の計画作成や連絡調整を行いました。ニーズに合ったサービス等利用計画を作成後、必要な福祉サービスをご利用できるよう関係者を招集してサービス等調整会議を開きました。また、数カ月一度関係者を招集してモニタリング会議を開きました。承認された計画書や報告書を市町村に提出しました。

営業活動

- ・市役所福祉関係者へ引き続き周知しました。
- ・諏訪圏域障がい者総合支援センター「オアシス」にも連絡を取り、引き続き関係機関への周知をお願いしました。
- ・諏訪地域障がい福祉自立支援協議会が発行する「障がい福祉サービス利用ガイドブック」に掲載をお願いし、諏訪地域に配布いただいています。
- ・各障害者福祉事業所及び民生児童委員などにパンフレットを配布して周知を図っています。

相談支援状況

- ・相談契約者：50名（内訳 茅野市48名、諏訪市1名、下諏訪町1名）
- ・計画作成・モニタリング件数：144件

2 就労継続支援B型事業

37,658,995円

あすなろセンターにおいて、民間企業等に雇用されることが困難な障害のある方に就労の機会を提供し知識や能力向上の訓練等を行いました。

通所人員 25名（平成30年4月1日現在）
25名（平成31年3月31日現在）
平成30年度中、通所者の増減はありませんでした。

作業内容

ボカシ製造・販売、タップ加工、寒天袋詰め作業、にんにくの皮むき作業、スティックバラし、安全ピン組・袋詰め作業、紙の型抜き、ビニール畳み、部品組み立て作業、プラスチック板揃え、商品発送作業、薪の箱詰め、諏訪合同庁舎清掃、上古田公民館清掃作業、牛乳パック・古紙収集、アルミ缶・スチール缶収集、看板製作、シュレッダー作業、赤い羽根作業 ほか

取引業者

タップ (有)茅野工業・ヨシトミ・マーシン(株)・(株)ミサキ工業、寒天 (有)イリイチ、にんにく レストラン梅蔵、スティックバラし 相吉産業(株)、安全ピン組 (株)アクティブライフ、型抜き プリテック、ビニール畳み コスモス工業(株)、部品組立 オザワ企画、プラスチック板揃え 東北テクトロン(株)、商品発送 パスウォール、薪の箱詰め ハヶ岳通販、合同庁舎清掃・牛乳パック・古紙 長野県セルプセンター協議会、缶類 (有)手沢商店

総収入額	5,838,707円（平成31年3月31日現在）
必要経費	286,971円
実質収入額	5,551,736円
平均工賃	10,825円（25人としての1か月平均）
	46,082円（年2回の平均手当/25人）

目 標

- ・自主通所することにより社会生活の場を広げ、多くの作業種目を体験し、各行事を通して仲間と関わりあいながら、ボランティアグループ等（茅野市民生児童委員、虹の会など）との交流を深め、生活習慣の改善や心身向上等身体機能の保持を目指した活動を行いました。
- ・設定した目標工賃額（時給換算）の達成に向けて、各利用者工賃が平成29年度を上回るよう、作業量の確保に努めました。

諸活動等

○年間を通して実施したもの

- ・機能訓練として月1回程度軽スポーツ訓練等を実施
- ・民生児童委員12回、9地区、述べ人数53名との訪問交流

- ・手話ダンスボランティア「虹の会」との交流会を毎月1回実施
- ・誕生会を当該月中に実施
- ・諏訪養護学校生徒現場実習受け入れ
- ・定例社協職員会議 毎月中旬実施

○個々に実施したもの

- | | |
|------------------------------|----------|
| ・平成30年度保護者会総会 | 4月24日 |
| ・諏訪地区身障者スポーツ大会 会場 茅野市運動公園 | 5月26日 |
| ・茅野どんばん行燈づくり | 6月27・28日 |
| ・七夕飾りづくり | 6月28日 |
| ・昼食会ほっともっとのお弁当で昼食 | 〃 |
| ・ブルーベリー狩り 米沢 | 7月27日 |
| ・保護者会納涼祭 あすなるセンター前広場 | 〃 |
| ・「第37回ふれあいのつどい」への参加 会場 ゆいわ〜く | 8月26日 |
| ・保護者会施設見学 グループホーム3施設 | 9月7日 |
| ・ミニ運動会 ちの地区コミュニティセンター | 11月9日 |
| ・クリスマス飾り(クリスマスリーフ)製作 | 12月5日 |
| ・クリスマス会「ごんじいさんとゆかいな仲間たち」 | 12月10日 |
| ・美容奉仕サービス シャレンド | 2月5日 |

○通所者の状況及び課題

平成29年度末通所者26名の内、平成29年10月から家庭の事情によって通所することが困難な利用者の利用契約が3月に更新されなかったため、平成30年度の通所者は定員と同数の25名で4月からスタートしました。平成30年度途中での退所者や新たな通所者はありませんでした。

平成24年4月に地域活動支援センターから就労継続支援B型事業所に移行して、平成30年3月で6年の指定有効期間に到達しました。このため、更新手続きを平成30年4月から6年間の指定を受けています。

平成30年4月から支給基準が変わり、一律であった給付金額が事業所における平成29年度の1人平均月額工賃の額によって変動することになりました。安定した施設の運営のため給付金収入を確保するには、平成29年度の利用者の月額工賃を維持または増額となるように努めることが必要となります。

工賃収入の多くを占める受託加工は、受注先の企業の事情によって月間または年間で作業量及び収入が変動することがあり、受注先や作業の選択等には困難なことがあります。現状では作業量的には適量を確保できていますが、就労継続支援施設として、安定的に継続した作業量と収入額を確保することは難しいと考えています。

利用者とその家族が高齢化しており、他のサービスを併用するなど、1日当たりの通所者数が減少してきています。通所者数の減少は、給付金収入の減少にもなることから、新たな通所者との利用契約を結ぶなど、実質の通所者を増やすことも必要で課題となっています。

引き続き施設等の体制を維持するとともに、地域活動支援の場として仕事、体力、生活面の指導に力を入れ、通所者が社会人として自立し、社会参加できるよう継続的に取り組んでまいります。

○受注の状況等

総収入額は、平成29年度に比べて約11%減少となりました。総収入額が減少した要因は、平成29年度は作業に必要な用品の購入を含めた受注により、経費の大きなものがあつたことがあげられます。収入額から経費を差し引いた実質収入額(利用者に工賃として支払った額)では、平成29年度に比べて約0.8%増加しました。これは、平成29年度の途中から第2部作業に新たに

受注があった2社の収入が1年分になったことがあります。その他の第2部の受注作業では、今までに受注していた、ほとんどの企業の収入が、平成29年度に比べて減少しており、相殺して全体の収入は微増となりました。

いずれにしましても、これらの企業等からは年間を通じて安定した受注をいただいています。

今後も利用者の作業量と工賃を維持するため、引き続き安定的な受注の確保とともに収入の確保に努めてまいります。

平成30年度 在宅福祉係 研修内容一覧

研修（内部・外部）

4月17日	茅野市介護支援専門員連絡会 ・ふれあい保険福祉事業、申請、届書等確認 ・事業所からの連絡事項 ・総合事業関連 ・住宅改修について
5月16日	・福祉21ビープラン基礎研修「地域共生社会の実現に向けて」 講師：行政アドバイザー 原田 正樹 氏
6月18日	茅野市介護支援専門員連絡会 ・事業所からの連絡事項 ・特養入退所事務の移行について
6月21日	合同防災(火災)訓練 西部保健福祉サービスセンター
7月17日	介護保険事業所研修会（訪問） 県総合教育センター（塩尻市）
7月19日	介護保険事業所研修会（デイ） 県総合教育センター（塩尻市）
8月21日	茅野市介護支援専門員連絡会及び第1回医療と介護の連携連絡会合同会議の開催について ・事業所からの連絡 ・医療と介護の情報連携 ・ディスカッション
9月11日	第34回諏訪圏域介護保険指定事業所連絡協議会研修会 講演：「腰痛予防対策講習会 柔道整復師の視点より」 講師：みよし接骨院 野口 邦治 氏 講演：「腰痛を抱えての介護業務について（実技）」 講師：原 接骨院 原 隆 氏
10月20日	平成30年度障害福祉サービス事業者等集団指導（訪問） 長野県総合教育センター（塩尻市）
10月23日	茅野市介護支援専門員連絡会 ・事業所からの連絡事項 ・崖っぷちアンケート ・グループワーク（住宅改修について） ・介護保険負担限度額認定証について
10月24日	合同防災(地震)訓練 西部保健福祉サービスセンター
	精神障がい者地域生活支援研修会 ・情報提供 地域移行の状況について 活動報告「精神障がい者地域移行支援の活動状況について」

10月30日	<p>講師：諏訪圏域障がい者総合支援センター オアシス 地域生活支援コーディネーター 渋谷 千秋 氏</p> <p>「長期入院高齢精神障がい者の地域移行支援について～退院する＝連携する」</p> <p>講師：上伊那圏域障がい者総合支援センター きらり 精神障がい者地域生活移行コーディネーター 相談支援専門員 春日 聡 氏</p>
11月7日	<p>作業療法士会 出前講座「高齢者のレクレ-ション」 講師：城西病院 山口 孝子 氏</p>
11月26日	<p>社会福祉施設等における感染症・食中毒の発生及びまん延防止等に係る研修会 諏訪合同庁舎 5階</p>
11月27日	<p>医療・介護連携に係る個人情報取り扱い等に係る研修会 「個人情報保護&セキュリティ対策」 茅野市役所 8階</p>
12月18日	<p>茅野市介護支援専門員連絡会 ・事業所からの連絡事項 「ケアマネージャーのための成年後見スタディ」 講師：特定行政書士 宮沢 優一 氏</p>
2月4日	<p>地域ケア会議「相談窓口の認知度を上げ、地域とのつながりをつくっていくための方策を考える」 茅野市役所 8階</p>
2月5日	<p>諏訪圏域介護支援専門員研修 講演：「自立の視点に立ったケアプランをめざしましょう ～アセスメントからプランニングの捉え方～」 講師：長野県法廷研修企画員 三才山居宅介護支援事業所 管理者 大谷 直史 氏</p>
2月19日	<p>茅野市介護支援専門員連絡会 ・事業所からの連絡事項 ・事例検討 グループワーク</p>
2月21日	<p>社協職員研修「災害ボランティアセンター運営訓練」 「長期的に見る支援の重要性」 講師：特定非営利活動法人ローカル・コミュニティ 理事長 高田 克彦 氏</p>
毎月	<p>介護保険事業所サービス提供者会議（交代で出席）</p>

平成30年度 ボランティア活動助成金交付団体一覧

No	団体名 代表者名	結成年月 人数	交付申請 金額(円)	交付決定 金額	助成対象申請事業内容
1	エンジェル絵手紙の会 倉澤重子	平成 11 年 7 月 28	50,000	41,450	・市内施設に配布する絵手紙作成の為の ハガキ、台紙、他の購入費用 ・絵手紙講座(新聞等で参加者を募集)の 講師謝礼 ・ゆいわーく茅野ロッカーの賃借料
2	押花なでしこの会 世良田あゆみ	平成 14 年 3 月 5	30,000	24,870	・どっこいしょ広場に展示する作品の材料 購入費 ・やすらぎの丘等、高齢福祉施設利用者と 作品作りするため材料購入費 ・体験学習等の材料購入費
3	おひさまクラブ 中柄房子	平成 23 年 12 月 15	50,000	41,450	公共施設の花壇整備のための苗、種子、 培養土等の購入費用
4	親子うんどうママだっこ 東城久美子	平成 25 年 4 月 50	50,000	41,450	・親子運動の講師謝礼 ・ポスター作製の消耗品費 ・親子運動に必要な備品購入
5	幸せ応援団 斉藤貴子	平成 22 年 3 月 16	10,000	8,290	健康な老後を過ごすための口腔ケア全般 についての講演会を開催、その講師謝礼
6	大正琴ロマンハーブの会 伊藤和子	平成 7 年 4 月 18	25,000	20,725	・ボランティア活動を行う時の小道具、器材 の修理費、購入費用 ・学習会及び研修会の講師謝礼
7	茅野おやこ劇場 古賀栄美	平成元年 4 月 177	50,000	41,450	未就園児の親子のための仲間づくりや集 団生活への一歩を踏み出すお手伝いとして 劇ごっこワークショップ「親子でいっしょに劇ごっ こ」を開催。劇団風の子への公演料(謝 礼)。
8	茅野市マジッククラブ 武藤昇	昭和 60 年 4 月 12	50,000	41,450	・施設訪問時の技術向上のための学習会 の講師謝礼、交通費 ・共同使用するマジック用具購入
9	茅野レスキューネット 宮外光夫	平成 17 年 3 月 15	30,000	24,870	・市民やボランティアを対象とした災害 VC 立 ち上げ訓練と講習会の資料作成の印刷製 本費他 ・事業に使用する中古プロジェクター購入 費用 ・講習会資料作成のソフト購入費用
10	繋 inc. 木村かほり	平成 26 年 8 月 87	50,000	41,450	・親子で農作業するための備品購入 ・事業を宣伝するための印刷製本費
11	ともしび会 両角宗茂	平成 21 年 8 月 7	36,000	29,844	音楽を通して交流する場としての歌の集い の伴奏指揮者の講師謝礼
12	のいちごの会 伊藤美穂子	平成 25 年 4 月 30	50,000	41,450	野外での体験活動の講師謝礼と交通費

No	団体名 代表者名	結成年月 人数	交付申請 金額(円)	交付決定 金額	助成対象申請事業内容
13	ハッピースマイル 篠原優子	平成 17 年 10 月 7	50,000	41,450	・訪問活動時に必要なスピーカが壊れたため購入したい ・新しい曲の楽譜の購入費用
14	パーキンソン病からの贈り物の会 両角いく子	平成 14 年 3 月 25	35,000	29,015	・パーキンソン病のための運動・音楽・ヨガ療法、交流会、相談会の講師謝礼 ・絵手紙学習会の材料費
15	腹話術友の会 水代彰子	平成 17 年 12 月 10	50,000	41,450	・施設訪問時に使用する、玉すだれ、簡易衝立の購入費用 ・月1回の例会後に会員以外にも呼びかけ昔の遊びの実践を行い仲間作りを目指す。そのためのけん玉の購入費用
16	ぶれジョブちの(ぶれジョブ茅野推進委員会) 林直樹	平成 26 年 4 月 32	50,000	41,450	・全国で広がっている「ぶれジョブ」活動推進のチラシや資料作成の用紙やインクの購入費用 ・広報、啓発活動用のリーフレットの印刷製本費 ・関係機関への通信運搬費
17	手話ダンス虹の会 篠原郁子	平成 6 年 4 月 14	50,000	41,450	・訪問活動のための手話ダンスの新曲を学ぶため、東京より講師を呼ぶための講師謝礼と旅費 ・CD、テープ、コピー用紙の購入費用 ・訪問活動用の衣装購入
18	米沢読書ボランティアぽっかぽか 古賀栄美	平成 12 年 9 月 18	20,000	16,580	・紙芝居、人形、ペーパサート等のおはなし会で使用する道具の購入費用 ・修理の材料の購入費用 ・台本を印刷するためのプリンターのインク購入費用
19	R for I 山室典子	平成 19 年 3 月 46	50,000	41,450	・支援を必要とする子どもを持つ家族の不安と悩みを軽減する「体験・情報交換会」、障害の理解と支援を学ぶ「学習会」の報償費、材料費 ・支援機関への通信運搬費
20	茅野子ども福祉教室四葉 盛川陽子	平成 4 年 4 月 10	50,000	41,450	・障害について理解する福祉教室の講師謝礼 ・事業参加者の行事用保険料 ・会場費 ・事業の給食食材費
21	かにさん 松本美恵子	平成 3 年 10 月 19	10,000	8,290	・使用済み切手保管のためのロッカー賃借料・ポレボクラブ(使用済み切手等の収集活動者)への使用済み切手の送料・使用済み切手を使って作成する栞作成に必要なラミネートとゴム印を購入

No	団体名 代表者名	結成年月 人数	交付申請 金額(円)	交付決定 金額	助成対象申請事業内容
22	朝日のおたる家 篠原リカ子	平成 29 年 4 月 10	30,000	24,870	昨年の懇談会を発展させ、パネラー(県内1名、県外1名)を招きパネルディスカッションを実施したい。そのパネラーへの謝礼代
23	ボランティアグループえがお応援隊 伊藤玲子	平成 23 年 3 月 19	50,000	41,450	・主に高齢者を対象としたサロン「地域のENGAWA えがお」と、主に子どもを対象とした「みんなでごはん in えがお」の会場費 ・子どもの給食食材費
24	茅野市ボランティア連絡協議会 伊東俊夫	平成 8 年 11 月 60 団体	50,000	41,450	・ふれあいフェスティバルの講師謝礼 ・ふれあいフェスティバルの消耗品費 ・ふれあいフェスティバル、リサイクル&チャリティーマーケットの一般への通信運搬費
25	米沢地区ボランティアの会 松村敬江	平成 5 年 2 月 67	50,000	41,450	・一人暮らしの高齢者が地域で安心して暮らせるための活動であるいきいきサロンと宅配弁当の給食食材費 ・高齢者に配布するクリスマスプレゼントの購入費
26	湖東ボランティアの会 飯島優子	平成 9 年 4 月 33	50,000	41,450	・サロンの給食食材費 ・学習会を周知するお知らせの作成費用
27	はなみずきの会(中大塩) 宮坂勝彦	平成 3 年 7 月 32	50,000	41,450	高齢者対象の昼食会、宅配弁当の給食食材費 対象者の増加と食材費の値上がりで会費やフリーマーケットの収益では賄いきれない
28	玉川ボランティアの会 牛山宏子	平成 4 年 11 月 84	50,000	41,450	・高齢者対象の七夕昼食会の給食食材費 ・小学生との交流(水鉄砲作り)の給食食材費と水鉄砲の材料費
29	ちの地区ボランティアの会 高橋たづ子	平成 9 年 171	50,000	41,450	高齢者支援事業地域福祉実施のための高齢者対象の宅配弁当の給食食材費
30	宮川ボランティア愛の会 原光江	平成 5 年 12 月 137	50,000	41,450	・いきいきサロンの給食食材費 ・出前福祉講座の材料費
31	金沢ボランティアの会 中出寛	平成 6 年 14 月 78	35,000	29,015	・いきいきサロンの給食食材費補助 高齢者向けの料理講習会の講師謝礼と給食食材費
合計	申請及び交付団体数		31 件	31 件	
	申請及び交付金額		1,311,000	1,086,819	

平成30年度 新規交付団体一覧

No	団体名 代表者名	結成年月 人数	交付申請 金額(円)	交付決定 金額	助成対象申請事業内容
32	いこーよ 北原純子	平成 30 年 3 月 20	50,000	41,450	・支援を必要とする障害児・者が安心安全に公共交通機関、施設で余暇活動するために実施する事前勉強会の講師謝礼 ・活動時の介助者の謝礼 ・そば打ち体験の給食食材費他 ・事業体験時の講師補助員の食糧費と交通費 ・印刷用紙、インク代その他消耗品
33	Joiful Swim Club 野間口久子	平成 30 年 3 月 16	50,000	41,450	支援を必要とする障害児・者が充実した社会生活を送る為に大切な余暇活動の選択肢として開催する水泳教室の講師謝礼と講師の施設利用料
34	おきなぐさ 那須真紀	平成 27 年 8 月 5	15,000	12,435	定期的高齢者施設で歌による音楽訪問活動をしている。活動内容のレベル向上のための講習会の講師謝礼と交通費
35	音なかま ピッピ 溝部絵美子	平成 27 年 4 月 14	35,000	29,015	・保育園や高齢者施設への訪問による演奏会を行う会員を増やすための体験会とサロンを開催。その開催回数を増やすために助成金を申請 ・一般向けに会員増員と演奏の向上を目的に練習会を企画し、その講師謝礼
合計	申請及び交付団体数		4 件	4 件	
	申請及び交付金額		150,000	124,350	

項目	申請分	交付分
申請及び交付団体 総合計件数	35 件	35 件
申請及び交付金額 総合計金額	1,461,000	1,211,169

平成30年度 市民活動センター「ゆいわーく茅野」事業報告

市民活動・ボランティア活動をしている個人・団体のために活動場所と情報を提供し、相談を受け、その活動を推進・支援する（相談・コーディネート事業、センター管理・運営事業）		
事業名	内容	実績
コーディネーターの配置による相談活動	市民活動の相談・支援を行った。人財の紹介やボランティアコーディネート、補助金への繋ぎや申請書の書き方、活動への助言など。	相談件数（完了のみ） 59件
職員によるケース検討会	ゆいわーく茅野に寄せられる相談や情報を職員が共有し、より相談者等に有意義な提案ができるよう検討会を行った。	定例 月に1回 ケース毎に随時検討
コーディネーター育成	職員のコーディネート力を充実させるため、研修会等へ参加した。	県社協ボランティアコーディネーター研修、長野県主催研修など
市民活動への会場提供及び備品貸出事業	まちづくりの拠点となる施設の管理、運営。適切な管理のもと、使いやすく安心して利用できる施設にしていくことで利用の促進を図った。また、市民活動団体の登録を申請する団体を対象に利用説明会を行い、適切な施設利用を周知。市民活動に利用する備品を整備し貸し出した。	市民活動登録団体 271団体 平均利用者数 2,971人/月 稼働率 平均76.2%
運営委員会・部会長会・部会の開催	運営委員会（部会）の役割を明確化し、『ゆいわーく茅野』の事業評価、イベント運営、広報やHP修正などをすすめた。	運営委員会 7回 部会長会 1回 ひとつづくり部会 6回 つながり部会 6回 広報部会 3回
施設環境整備	季節に合わせた装飾など、楽しい施設づくりを行った。	来館者参加の季節の飾りつけ 暮らしの手帖展示
目安箱の設置	施設利用者から施設等についてのご意見をいただいた。回答とともに掲示することで、利用者と一緒に使いやすい施設を創ることを目的とした。	22件 PCのゲーム利用許可を求めるもの多数（おそらく小学生からだと思われる）

市民活動・ボランティア活動に積極的に参加する市民を増やす（市民・活動団体のニーズ把握と提案事業）		
事業名	内容	実績
支援のニーズ把握、提案事業の創出	「こんなことやりたいんだけど」が継続的に集まるよう、団体、個人のニーズ把握をし、市民による提案事業の創出を図った。	講座、イベント、補助金、相談、紹介など、それぞれの事業へと繋いだ

市民活動・ボランティア活動にかかわる個人・団体が積極的に情報を発信することを推進し、その情報をつなぐネットワークづくりを進める（ヒト・モノ・コト情報収集・発信事業）		
事業名	内容	実績
情報紙の発行	ゆいわーく茅野の事業や活動団体の紹介等を紙媒体で行い、市民への周知を図る目的で発行。運営委員を含めた編集委員会により内容を検討している。	奇数月の「月刊ぷらざ」への挟み込みにより発行 年6回 ゆいわーく通信編集委員会 7回
ホームページの運営	ゆいわーく茅野の事業や活動団体の紹介等をインターネットで行い、市民よりさらに幅広く市民活動を行う方や団体によびかけていく。Facebook、Twitter、インスタグラムを開設。	HP運営委員会を中心に、現HPの修正できる点を洗い出し、順次修正をすすめた。 HP運営委員会 7回
情報コーナーの充実	情報ボード、市民活動掲示板、みりよくBOOK、黒ボードなど、新たに市民活動団体登録をする皆さんに情報収集と提供を行い、情報コーナーの充実を図った。	
情報の収集と提供	市民活動に関わる補助金や保険等の情報、市内の行事などの情報を、収集し提供した。また、ゆいわーく茅野や市民活動に関わる情報をマスコミへ提供。	
出前講座	市の出前講座のプログラムに合わせて準備した。	2回 (理科大、地区コミュニティ)

さまざまな市民が出会い、交流できる場となり、人と人とのつながりをつくることで、新たな市民活動・ボランティア活動を創出する（連携・協働・ネットワーク事業）		
事業名	内容	実績
ゆいわーくdeつながっchao!	つながり部会を中心とした実行委員会を立ち上げ実施。「つながる」に意識を置き、講演会とワークショップを行った。 講演会 山崎亮氏(コミュニティデザイナー)	実行委員会 11名 参加者 約60人(団体・個人) 団体・個人の活動発表の場、出合いの場となった。実際につながった事例も見られた。
市民活動交流会	市民活動団体のネットワークづくりと情報交換のための交流会。モノづくりワークショップとゲームなどで参加者同士が話し、繋がる場となった。	参加者 100人
NPO法人等交流会	市内で活動するNPO法人が、当番制で法人運営に役立つテーマを提案し、情報共有、課題解決、ネットワークづくりの場となった。	1回 参加者 9名 テーマ：会員の高齢化
スポットライト劇場	人財養成講座の受講生有志により、講座のや受講年度を超えて交流できる場をつくった。	1回 参加者 23人
ネットワーク事業の創出	あらゆる主体、異業種、異分野の団体との連携、ネットワーク化を図る。	『ゆいわーく茅野』が関わった新たな創出事業 11件

		・各種講座から生まれた事業など
--	--	-----------------

自ら気づき、考え、行動する人をつくり、地域づくり、まちづくり、支え合いを推進する（人材養成・育成・交流事業）		
事業名	内容	実績
みんなのまちづくり支援事業	新たな市民活動の創出を、補助金と相談・コーディネート両面から支援し、市民活動の土壌とタネを育んだ。	採択事業：17事業 補助金額：2,275千円（未確定） 公開発表会参加者： 発表会 34名・報告会 40名
ファシリテーター養成講座	会議、ミーティング等の場で、参加者の発言、合意形成や相互理解を促進するファシリテーターを養成する講座として初開講した。（全4回 連続講座）	受講人数 13名（定員20名） 受講者アンケート 「満足・ほぼ満足」 100%

事業名	内容	実績
伝えるコツ講座	「伝える」をテーマに基本的なコツを学び、コミュニケーション力を身につける講座として初開講した。チラシ、キャッチコピー、プレゼンの3テーマで行った（全3回 各回参加）。	受講人数 延べ56名 アンケート満足度 「満足・ほぼ満足」 93.3%
男性の元気力向上と社会参加講座 『男の元気塾』	男性が地域で元気に暮らすための知識を学び、仲間づくりやボランティアの人財育成につなげる講座として開講（全3回 各回参加）。	受講人数 延べ45名 社協や市のイベントにボランティアとして参加する受講者が生まれた。
ひと・まちカレッジ	自主的、主体的に事業運営を行っている団体を発題者として事例発表を行い、フリーディカッションを行う。 4月NPO法人調和の響きエコツーリズムネットワーク（であい、つながり、課題解決へ） 7月傾聴ボランティアひだまり（よりよい関係で継続したボランティア活動へ） 11月くるみーず（一人ひとりが主役～楽しんで15年～） 1月大沢の宝つなげ隊（地域の宝をつなげたい！子どもを巻き込むしかけづくり）	年4回開催 参加者：延べ95人 受講者アンケート 「満足・ほぼ満足」 82.6% 参加者は、その事業や成果、課題について知り意見交換を行うことで解決方法に気づききっかけとなった。また、発題者は事業の振り返りとなった。
まちづくりコーディネーター養成講座	ヒト・モノ・コトをつなぐコーディネーターに必要な基礎知識を学び、協働のまちづくりを行うコーディネーターを養成する講座として開講した。 講座の一部（5回）を「まちづくり講座」として公開講座とした。	【養成講座】7～2月 全10回 受講人数 9名（定員10名） 受講者アンケート 「満足・ほぼ満足」 100% 【まちづくり講座】 参加者 延べ26名 ・市民活動相談会、病院職員の

		福利充実、支援の必要な子どもへの教育支援など新たな事業を創出。
--	--	---------------------------------

事業名	内容	実績
市民活動実践講座 『活動継続のための戦略とコツを知る!』	市民活動団体を対象にチームで参加し、市民活動の基礎知識を身に付け、会のビジョンや計画、資金などについて、チームの話し合いをもとに学ぶ講座となった。	1~2月 全4回 受講人数 8チーム(定員7チーム) 延べ50名 受講者アンケート 「満足・ほぼ満足」 100%
活動応援研修 モチッ! コミュニケーション	市民活動者自身が、活動や運営の中でよりよい人間関係を意識できるコミュニケーションの手法を実技を交えて学ぶ。	受講人数60名 受講者アンケート 「満足・ほぼ満足」 100%

障がいのある人など社会参加しにくい環境にある人に交流の場や居場所を提供する(まちの居場所育み事業)		
事業名	内容	実績
コミュニティソーシャルワーカー(CSW)との懇談会	地域のサロン活動を支援する社協のCSWとつながり部会が、お互いのニーズや役割を知るための交流、懇談を行った。	参加者 31名 今後も継続する予定。
障がいのある人などが参加する団体の利用促進	障がいのある人の当事者団体等が、使いやすい施設整備をすすめた。	モモ、手話サークル、諏訪養護学校、個人などが利用。

H30年度 個別支援活動全体集計表

目的・趣旨	主な取組内容	個別具体例	合計	地区別内訳										
				ちの	宮川	米沢	豊平	玉川	泉野	金沢	湖東	北山	中大塩	
生活状況の把握とニーズの早期発見	本人・家族からの情報収集	1 自宅周辺の状況を確認する	1,090	74	62	215	119	67	135	91	19	72	236	
		2 本人・家族に体調を確認	1,495	204	135	361	63	114	117	143	42	92	224	
		3 本人・家族に生活状況を確認	1,463	199	134	354	63	126	95	144	42	95	211	
	他の職種機関からの情報収集	4 悩み事・困りごと・孤独感の相談	614	36	51	65	68	97	25	138	18	18	98	
		5 CM から情報提供を受ける	199	23	34	14	34	38	1	8	7	31	9	
		6 病院関係者(Dr、NS、MSW等)から情報提供を受ける	55	7	14	2	5	16	1	2	1	7	0	
		7 SCから情報提供を受ける	499	27	60	21	138	71	18	18	63	65	18	
		8 CCから情報提供を受ける	12	1	3	0	0	0	1	0	2	4	1	
		9 市担当課から情報提供を受ける	38	7	7	2	1	2	0	2	3	4	10	
		10 社協担当者(サービス提供者含む)から情報提供を受ける	271	18	27	18	75	57	4	13	22	18	19	
		11 介護サービス提供者から情報提供を受ける	39	2	10	0	0	4	1	3	11	8	0	
		12 成年後見人等から情報提供を受ける	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	
		13 法的な専門家(弁護士・司法書士・行政書士・会計士等)から情報提供を受ける	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		14 郵便局・警察から情報を受ける	17	1	1	0	4	0	3	2	0	5	1	
		15 金融機関から情報提供を受ける	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
		16 民間企業(サービス提供者含む)から情報提供を受ける	24	11	1	4	0	0	4	3	0	1	1	
		地域住民等からの情報収集	17 民生・保護司から情報提供を受ける	154	19	17	8	12	13	4	11	26	23	21
			18 地域の役職者(区長・地区社協役員・福祉推進委員等)から情報提供を受ける	13	4	2	0	0	1	1	0	1	1	3
			19 ボランティアから情報提供を受ける	26	2	2	3	1	3	0	1	9	5	0
			20 地域住民等から情報提供を受ける	99	10	4	32	2	14	7	3	1	3	23
サービスや制度の利用に向けた間接的な支援	公的サービスや各種制度、専門窓口の情報提供	21 介護保険サービスの情報提供をする	50	8	8	3	1	4	0	5	8	4	9	
		22 介護予防サービスの情報提供をする	31	2	0	2	0	10	2	6	1	2	6	
		23 市の担当窓口・公的サービスの情報提供をする	36	0	1	3	0	1	0	3	5	5	18	
		24 自立支援サービスの情報提供をする	4	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	
		25 成年後見人制度の情報提供をする	6	1	0	0	0	2	0	0	2	1	0	
	社協事業の情報提供	26 社協事業の情報提供をする	289	21	20	7	8	113	1	12	25	22	60	
		27 民間配食サービスの情報提供をする	9	2	3	1	0	0	1	1	0	1	1	
		28 掃除関連業者の情報提供をする	6	0	1	2	0	0	0	1	1	1	0	
		29 買い物代行業者の情報提供をする	8	3	1	0	0	0	0	2	0	1	1	
		30 外仕事(草刈り、雪かき等)業者についての情報提供をする	6	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	
		31 地区の取り組み(お助け隊、お買物バス等)の紹介をする	108	0	7	1	1	0	0	11	0	0	88	
	地域との接点づくりや社会参加への働きかけ	32 ボランティアの取り組み(傾聴等)の紹介をする	11	0	0	2	5	0	0	1	1	0	2	
		33 いきいきサロン参加への働きかけを行う	28	1	0	7	0	1	0	5	1	0	13	
		34 運動教室参加への働きかけを行う	91	2	0	4	0	0	0	61	2	6	16	
		35 高齢者クラブ参加への働きかけを行う	3	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
生活課題の解決に向けた直接的な支援	社協事業の利用申請	36 社協事業の申請をする	133	23	23	9	7	41	3	4	7	12	4	
		37 訪問等の日程調整をする	112	4	17	9	26	33	1	0	10	7	5	
		38 訪問販売対策やクーリングオフの対応をする	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	
	本人や家族への生活状況の報告と改善の働きかけ	39 生活改善への助言をする	32	0	0	5	7	5	0	2	3	0	10	
		40 最低限の家屋の片付けをする	7	0	2	2	0	3	0	0	0	0	0	
		41 健康に関する助言をする	79	1	0	6	0	8	0	44	0	0	20	
		42 最低限の生活困窮の支援を行う	3	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	
		43 家族に生活状況(金銭含む)を報告する	17	1	3	0	0	2	1	0	1	6	3	
	事務・支払い手続き等の手伝い	44 サービス利用の調整をする	107	29	32	8	0	19	5	4	5	4	1	
		45 料金等の集金・支払いをする	5	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	
		46 手紙・書類等の代筆・代読をする	15	0	0	1	0	4	2	3	1	3	1	
		47 業者の立ち合いを行う	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
	本人や家族への直接的な対応	48 警察・裁判所の立ち合いを行う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		49 受診に同行する	6	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	
50 施設見学や買い物に同行する		4	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1		
緊急対応	51 家族に緊急連絡をする	4	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0		
	52 救急車・警察を呼ぶ	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0		
	53 各機関(CM・SC・民生・上司)へ緊急連絡をする	4	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0		
周辺環境の整備と調整	他の職種機関への情報提供	54 CM へ情報提供をする	65	8	9	4	6	9	0	4	2	18	5	
		55 病院関係者(Dr、NS、MSW等)へ情報提供をする	15	1	5	0	0	5	0	4	0	0	0	
		56 SCへ情報提供をする	322	22	44	13	30	25	12	40	44	69	23	
		57 市担当課へ情報提供をする	24	4	2	1	1	2	0	4	2	4	4	
		58 社協担当者へ情報提供をする	183	5	17	9	23	69	1	3	14	33	9	
		59 介護サービス提供者へ情報提供をする	13	0	3	0	0	1	0	3	1	5	0	
		60 成年後見人等から情報提供を受ける	5	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	
		61 法律の専門家(弁護士・司法書士・行政書士・会計士等)へ情報提供をする	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
		62 郵便局・警察へ情報提供をする	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
		63 金融機関へ情報提供をする	4	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	
		64 民間企業(サービス提供者含む)へ情報提供をする	8	0	0	1	0	0	1	3	2	1	0	
		65 民生・保護司へ情報提供をする	88	8	17	1	3	6	6	14	7	15	11	
		地域住民等への情報提供	66 地域の役職者(区長・地区社協役員・福祉推進委員等)へ情報提供をする	5	1	0	0	0	0	2	0	1	0	1
	67 ボランティアへ情報提供をする		12	0	0	3	2	0	0	1	4	2	0	
	68 地域住民等へ情報提供をする		11	2	1	2	1	1	1	2	1	0	0	
	69 支援協力のため、話し合いの場を設ける		11	0	0	0	0	3	0	0	0	3	5	
	協力・連携の調整	70 担当者会議、カンファレンス等に参加する	23	2	3	2	0	4	1	0	3	4	4	
		71 社協担当者等と同行訪問をする	23	2	10	3	3	4	0	1	0	0	0	
		72 各機関(CM・SC・市担当課・民生等)と同行訪問をする	157	14	40	2	17	37	3	25	3	12	4	
		73 地域住民等と同行訪問をする	10	5	0	0	0	3	0	2	0	0	0	
74 地域住民等へ見守り、声かけ等の協力を依頼する		26	0	3	0	1	4	0	8	0	2	8		
75 地域事業者へ見守り、声かけ等の協力を依頼する		5	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0		
トラブルの調整	76 トラブル(家族・近隣・職場等)の調整をする	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	77 社協事業への協力を促す	6	1	0	1	0	0	0	0	0	1	3		
担い手を増やすための支援	支え合いの担い手を増やす取組み	78 地域活動への参加を促す	10	0	0	1	0	0	0	1	0	1	7	
		79 ボランティア活動への参加を促す	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	
		80 地域の活動・講座への参加を促す	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
その他														
計			8,375	825	846	1,216	730	1,050	463	887	434	704	1,220	

H30年度 地域支援活動全体集計表

目的・趣旨	主な取り組み内容	個別具体例	合計	地区別内訳										
				ちの	宮川	米沢	豊平	玉川	泉野	金沢	湖東	北山	中大塩	
打合わせ・会議関係	打合わせ・会議の実施	1 CCと打ち合わせを実施する	255	28	26	21	84	17	7	0	13	28	31	
		2 SCと打ち合わせを実施する	32	0	0	6	11	4	0	0	0	11	0	
		3 CC・SCと打ち合わせを実施する	24	0	1	2	8	1	1	3	2	6	0	
		4 会長と打ち合わせを実施する	248	12	7	32	112	25	6	4	0	19	31	
		5 CC・会長と打ち合わせを実施する	94	8	1	3	41	9	0	10	8	12	2	
		6 三役会（幹事会）を実施する	29	4	3	1	0	7	1	0	1	0	12	
		7 役員会を実施する	80	6	18	5	12	11	2	5	8	4	9	
		8 委員会（連絡会）を実施する	58	2	6	0	20	12	3	3	9	1	2	
		9 総会を実施する	21	1	2	2	2	2	2	3	4	1	2	
	役割	10 受付を行う	76	1	1	3	22	27	1	11	0	8	2	
		11 司会・進行を行う	82	3	1	1	13	37	0	3	5	18	1	
		12 議事に関する説明、情報提供を行う	366	30	45	12	65	83	2	18	33	40	38	
		13 記録を行う	299	26	27	13	56	93	0	25	8	17	34	
	検討内容	14 事業内容等について検討する	322	25	35	20	68	70	8	14	26	18	38	
		15 研修内容等について検討する	78	13	2	1	28	10	2	4	1	10	7	
		16 人事について検討する	9	0	0	0	0	3	0	3	3	0	0	
		17 助成金（応援メニュー、行動計画助成金等）について検討する	16	1	0	0	1	9	1	1	3	0	0	
		18 事業の立ち上げ、見直し等について検討する	82	0	0	2	6	37	1	14	0	1	21	
		19 地域福祉行動計画について検討する	48	4	14	1	21	0	0	4	1	1	2	
		20 地域の情報誌（CC便り、地区社協だより等）について検討する	26	4	1	3	8	1	2	1	0	0	6	
		21 支え合い、マップ等について検討する	28	3	0	0	15	0	1	3	3	0	3	
事務関係	事務	22 業者・物品等の手配を行う	85	5	4	2	2	38	12	4	8	4	6	
		23 必要物品の買い出しを行う	40	0	0	1	2	16	0	6	6	9	0	
		24 通知の準備・発送等を行う	119	1	3	1	0	96	0	3	3	12	0	
		25 搬入物品の準備を行う	90	3	4	7	1	41	2	5	5	5	17	
		26 会場の準備を行う	172	2	6	6	18	49	1	19	6	9	56	
		27 支払い、精算等の会計事務を行う	48	0	0	2	0	22	6	3	10	5	0	
		28 資料を作成する	306	24	42	12	73	65	1	18	7	35	29	
		29 地域の情報誌（CC便り、地区社協だより）等を作成する	24	4	1	1	0	6	6	0	0	3	3	
		30 助成金（応援メニュー、行動計画助成金等）の事務を行う	26	0	16	0	0	4	0	0	6	0	0	
		31 地区の取り組み（お助け隊、お買い物バス等）の事務を行う	24	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	
		32 共募大口企業募金の事務を行う	7	0	0	0	0	2	0	0	2	3	0	
		支援	相談	33 住民活動等についての相談を受ける	149	21	14	2	46	37	2	10	5	3
事業	34 事業を進行管理する		72	5	6	0	11	14	0	21	3	10	2	
	35 レクリエーションや情報提供等を行う		204	22	10	14	14	75	9	29	15	8	8	
	36 参加者（高齢者等）から情報収集を行う		382	44	40	70	8	54	18	34	17	32	65	
	37 事業のサポートをする		249	10	12	18	26	54	13	28	11	10	67	
	38 講師、会場、視察先等の手配を行う		247	11	2	8	62	129	1	2	4	19	9	
研修	39 研修会を実施する		24	2	1	2	8	2	0	3	1	5	0	
	40 視察研修に同行する		9	1	1	0	1	2	1	1	0	2	0	
	41 視察研修を受け入れる		7	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	
	42 出前講座（認知症・マップ・特殊詐欺等）を実施する		38	4	0	0	5	22	1	4	2	0	0	
地域支援	43 住民活動等についての支援を行う		235	15	4	4	34	65	24	3	25	21	40	
	44 ボランティア活動等の支援を行う		139	10	5	6	14	31	0	28	18	19	8	
	45 マップ作成、更新、活用のための支援を行う		10	1	0	0	8	1	0	0	0	0	0	
追加	46 ボランティアの会の総会・会議に参加する		41	4	1	2	9	10	0	1	9	1	4	
	47 足腰おたっしや教室の支援		86	0	0	26	0	28	0	0	3	6	23	
	48 行政区福祉推進委員の会議に参加	49	11	0	0	0	6	1	0	4	3	24		
	49 CC職員と訪問する	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0		
	50 行事保険の加入手続き	14	0	4	0	0	1	0	2	0	2	5		
	51 新しい地域資源開発のための働きかけを行う	19	0	17	0	1	0	0	0	0	0	1		
	52 福祉部会打ち合わせ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	53 市職員との打ち合わせ	50	0	0	5	0	0	0	0	6	23	16		
	計	5,241	371	407	317	936	1,338	138	353	304	444	633		

平成30年度 研修参加 一覧

	総務・企画係			地域福祉活動推進係			日常生活支援係			在宅福祉係		
	日時	場所	内容	日時	場所	内容	日時	場所	内容	日時	場所	内容
5月							5月18日	塩尻市総合文化センター	日常生活自立支援事業 新任専門員研修	5月16日 ～18日	浅間温泉文化センター	介護支援専門員更新研修
							5月31日	浅間温泉文化センター	生活困窮者支援を考えるセミナー			
6月				6月19日	浅間温泉文化センター	地域コーディネーター養成研修				6月12日	浅間温泉文化センター	障がい者福祉サービス 従事者新人研修
				6月25日	長野県総合教育センター	地域コーディネーター養成研修				6月20日 ～22日	浅間温泉文化センター	介護支援専門員更新研修
7月				7月11日	長野県生涯学習推進センター	地域福祉コーディネーター養成研修	7月17日 ～18日	全社協滝尾ホール	日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修	7月2日	松本市勤労者福祉センター	精神保健福祉担当者基礎研修会
										7月17日 19日	長野県総合教育センター	介護保険事業所研修会
										7月25日 ～27日	長野県生涯学習センター	主任CM研修会
										7月30日 ～31日	諏訪湖ハイッ	障がい者相談支援従事者 専門分野研修
8月	8月25日 ～27日	中央福祉学院	会計実務講座(入門編)	8月10日	安曇野市 豊科ふれあいホール	福祉教育推進フォーラム	8月22日	長野市東部ホール	意思決定支援を考える専門職研修 市民と共に進める権利擁護セミナー	8月28日 ～30日	松本勤労者福祉センター	主任CM研修会
	8月31日	愛知県半田市	第24回地域福祉実践研究セミナー in 半田				8月29日	安曇野建設事務所	権利擁護基礎セミナー			
9月	9月1日	愛知県半田市	第24回地域福祉実践研究セミナー in 半田	9月1日	愛知県半田市	第24回地域福祉実践研究セミナー in 半田	9月1日	愛知県半田市	第24回地域福祉実践研究セミナー in 半田	9月12日 ～14日	浅間温泉文化センター	介護支援専門員更新研修
				9月4日	松本商工会館	地域福祉コーディネーター養成研修						
10月	10月21日	塩尻消防署	災害ボランティアセンター開設・運営訓練	10月14日	長野市三輪地区公民館	地域福祉コーディネーター養成研修				10月1日	長野市	引きこもり支援関係者研修会
				10月21日	塩尻消防署	災害ボランティアセンター開設・運営訓練				10月3日 ～4日	長野県生涯学習センター	主任CM研修会
				10月24日	浅間温泉文化センター	コーディネーター井戸端会議				10月17日 ～19日	浅間温泉文化センター	介護支援専門員更新研修
11月				11月3日 ～4日	軽井沢大賀ホール他	ボランティア全国フォーラム	11月7日	浅間温泉文化センター	日常生活支援事業生活支援員研修会	11月7日	長野県生涯学習センター	主任CM研修会
							11月14日	諏訪湖ハイッ	生活福祉資金貸付事業 担当者研修会	11月19日	JA松本市会館	長野県福祉人材確保・定着支援セミナー
							11月20日	豊科交流学習センター	成年後見制度利用促進のための市 町村等説明会及び研修会	11月27日 ～28日	浅間温泉文化センター	主任CM研修会
							11月30日	飯田市役所	長野県成年後見支援センター 実務者勉強会	11月27日	須坂市	罪に問われた障がい者支援・矯正施設 視察研修
12月	12月7日	応研棟東京本社	2018年年末調整セミナー	12月4日	長野県生涯学習推進センター	地域福祉コーディネーター養成研修	12月10日	長野県総合教育センター	日常生活自立支援事業推進会議	12月6日	長野市障害学習センター	長野県福祉人材確保・定着支援セミナー
	12月20日	伊那市文化会館	働き方改革改正法セミナー	12月11日	長野県総合教育センター	長野県移動支援サービス研修				12月21日	長野県生涯学習センター	主任CM研修会
										12月22日	信州大学	信州子どもこころ診療研究会
1月	1月25日	長野県総合教育センター	市町村社会福祉協議会経理研修第2期	1月22日	長野県社会福祉総合センター	地域づくり出合いのひろば	1月23日	浅間温泉文化センター	生活困窮者支援を考えるセミナー			
2月	2月1日	浅間温泉文化センター	災害ボランティアセンター運営訓練	2月8日	長野県生涯学習推進センター	地域福祉コーディネーター養成研修	2月1日	長野県社会福祉総合センター	ギャンブル等依存症対策研修会			
	2月15日 ～16日	ホテルメルパルク長野	市町村社会福祉協議会実務者研修 社協ウインターキャンプ	2月15日	ホテルメルパルク長野	市町村社会福祉協議会実務者研修 社協ウインターキャンプ	2月8日	浅間温泉文化センター	成年後見制度利用促進・ 権利擁護推進セミナー			
							2月15日 ～16日	ホテルメルパルク長野	市町村社会福祉協議会実務者研修 社協ウインターキャンプ			
							2月19日	浅間温泉文化センター	心配ごと相談所等相談員研修会			
						2月20日	東京都	成年後見制度利用促進フォーラム				
3月	3月21日	信州大学 国際イノベーションセンター	災害時の連携を考える長野フォーラム	3月15日	長野県総合教育センター	地域コーディネーター養成研修				3月8日	長野県自治会館	障がい児相談支援研修